marantz®

# Model MD110 取扱説明書

## MD Deck

MDLP

MiniDisc

# 安全上のご注意

**ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。**

## 絵表示について

**この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。**

---

**警告** **この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

**注意** **この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

---

**⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。**
**図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。**

**● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。**
**図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。**

**△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。**
**図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。**

---

**警 告**

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- この機器のディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

## 警告

- この機器を設置する場合は、壁から 20cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から 2cm 以上、背面から 5cm 以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

- この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

## 注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子⊕とマイナス⊖端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- この機器の上に5kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

**注 意**

- オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ５年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

電源プラグをコンセントから抜け

- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

指を挟まれないよう注意

- お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

- 長期間使用しないとき、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

## 結露現象について

本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房をいれた直後には、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

# 目次


ご使用の前に ..... 1
MD について ..... 1

各部の名称と動作 ..... 3
フロントパネル ..... 3
リアパネル ..... 5
リモコン ..... 6
リモコンの使用方法 ..... 8
接続方法 ..... 9
他オーディオ機器との接続 ..... 9
レシーバー SR110 との接続 ..... 9

MDを聞く ..... 10
1 曲目から聞く ..... 10
再生を一時停止するには ..... 11
再生をやめるには ..... 11
MD を取り出すには ..... 11
聞きたい曲から再生するには ..... 12
リモコンを使って曲を選ぶ ..... 12
ジョグダイヤルを使って曲を選ぶ ..... 12
聞きたい部分を探すには ..... 13
曲を聞きながら探す（再生中） ..... 13
時間表示を見ながら探す（一時停止中） ..... 13
AMS（オートミュージックスキャン）再生 ..... 13
プログラム再生 ..... 14
曲をプログラムするには ..... 14
プログラム曲を取り消すには ..... 14
プログラム曲を聞くには ..... 15
プログラム内容を確認するには ..... 15
プログラムに曲を追加するには ..... 15
プログラム再生をやめるには ..... 15
ランダム再生 ..... 16
リピート再生 ..... 17
全曲をくり返すには ..... 17
1 曲をくり返すには ..... 17
停止中、再生中の表示 ..... 18

録音する ..... 19
録音する前に ..... 19
シリアルコピーマネージメントシステム（SCMS） .. 19
録音前の設定 ..... 20
入力モードの設定 ..... 20
録音モードの設定 ..... 20
録音のしかた ..... 21
録音を一時停止するには ..... 22
録音をやめるには ..... 22
MD を取り出すには ..... 22
録音内容を誤って消さないように ..... 22
CD シンクロダビング録音 ..... 23
録音をやめるには ..... 23

MDを編集する ..... 24
編集する前に ..... 24
1 曲または複数の曲を消去する（Quick Erase?） ..... 25
全曲を消去する（All Erase?） ..... 27
曲を移動する ..... 28
再生中の曲を移動する（Move?） ..... 28
複数の曲を移動する（Quick Move?） ..... 29
曲を分ける（Divide?） ..... 31
曲と曲をつなぐ（Combine?） ..... 33
編集内容を取り消す（Edit Cancel?） ..... 34

タイトルを編集する ..... 35
ディスク名／曲名をつける ..... 35
ディスク名／曲名を消去する ..... 37

タイマー機能をつかう ..... 38
時間設定をする ..... 38
タイマー再生 ..... 40
タイマー再生を設定する ..... 40
タイマー再生の設定／解除 ..... 41

その他 ..... 42
メッセージ表示一覧 ..... 42
システム上の制約について ..... 43
故障とお考えになる前に ..... 44
保証とアフターサービス ..... 45
仕様 ..... 46

# ご使用の前に

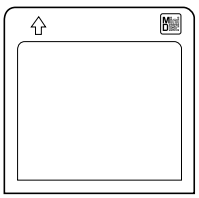
## MDについて

### MD(ミニディスク)

- MDはコンパクトなサイズで、最大80分(ステレオ)の再生／録音ができます。
  本機では録音モードを「LP2」にすると2倍、「LP4」で4倍の再生／録音ができます。
- MDには、再生専用MDと再生／録音用MDがあります。

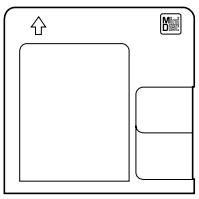
#### 再生専用MD

- 再生のみが可能なMDで、市販のミュージックMDソフトはこのタイプです。
- 再生専用MDは、CDと同じ光ディスクです。
- 曲の編集などはおこなえません。



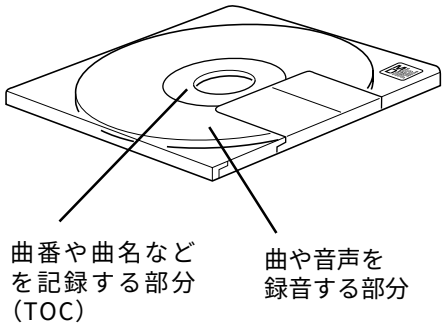
#### 再生／録音用MD

- 再生／録音が可能なMDで光磁気ディスクを使用しており、磁界変調方式で録音をおこないます。
- 書き替えも可能です。



### MDの書き込みについて

MDには曲や音声を録音する部分と、曲番や曲名などの情報を記録する部分があります。




### 曲番や曲名の記録 (TOC)について

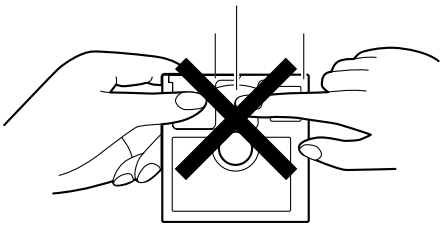
- MDには曲や音声とともに曲番、曲名や録音場所など曲を認識するための目次情報(TOC：Table of Contents)が記録されます。
- 再生するときはこのTOCを手がかりにします。
- TOCによって素早い選曲が可能となり、曲の編集はTOCデータを置き替えるだけで、曲を消去したり曲順を変更することができます。

# MDについて

## 取り扱いについて

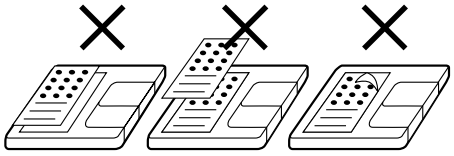
MDはカートリッジの中にディスクが収納されているため、汚れや傷を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。しかし、カートリッジの汚れやソリなどが誤動作の原因になることもあります。
次のことに注意してください。

- ほこりやチリ、湿気の多いところには置かないでください。
- 直射日光が当たるところなど湿度の高いところには置かないでください。.
- シャッターを開けて、ディスクに直接触れないでください。
- シャッターを無理に開けないでください、MDカートリッジが壊れます。



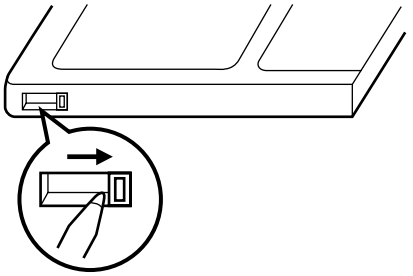
カートリッジにラベルを貼り付けるときは、必ず次のことをお守りください。
正しく貼り付けないと、MDが本機内部につまって取り出せなくなることがあります。

- ラベルは指定の場所(エリア内)に正しく貼ってください。(指定エリア以外には貼り付けないでください。)
- ラベルを重ねて貼り付けないでください。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り替えて使用してください。



## 誤録音／誤消去防止ツメについて

- 再生／録音用MDには誤録音や誤消去を防止するためのツメが付いています。録音した内容を誤って消さないために、このツメを矢印の方向に動かして孔を開けた状態にしてください。録音内容を保護することができます。
- 再び録音や消去などの編集をおこなう場合は、ツメを元に戻して孔を閉じてください。

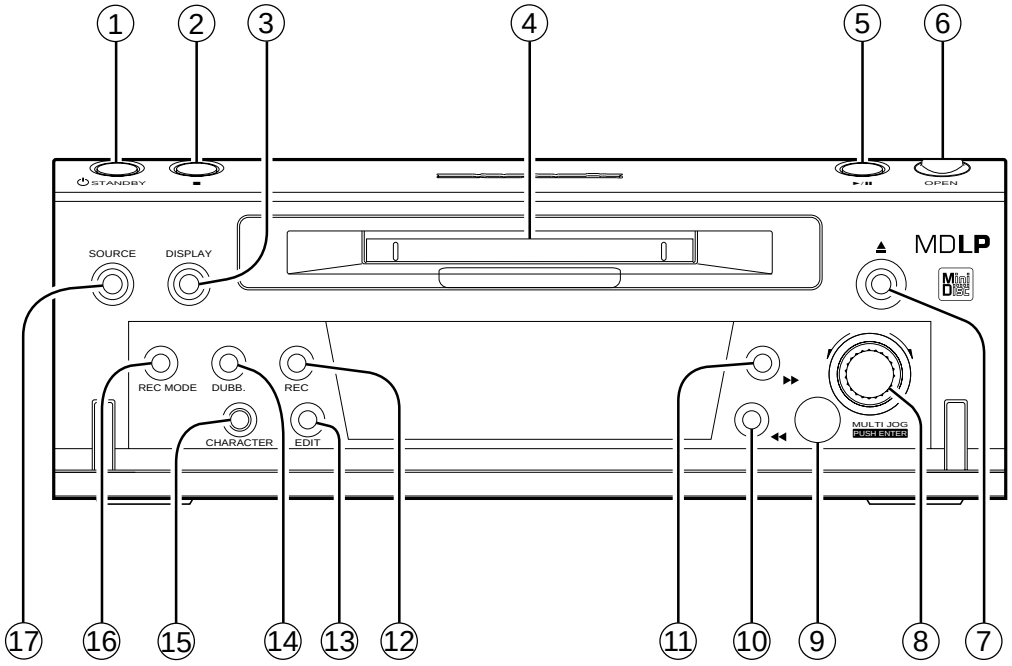


## お手入れについて

- カートリッジの汚れやほこり等は無理な力を加えないで、乾いた布で拭き取ってください。

# 各部の名称と動作

## フロントパネル




### ① ⏻ STANDBY(スタンバイ)ボタン・表示インジケーター

- 押すと電源が入り、ボタンが緑色に点灯します。もう一度押すとスタンバイ状態になり、ボタンが赤色に点灯します。

### ② ■（ストップ）ボタン

- 再生／録音、各種操作を停止します。

### ③ DISPLAYボタン

- ディスプレイの表示を切り替えます。

### ④ MD挿入口

- MDの矢印の向きに差し込んでください。
- MDを取り出したいときは ▲ (イジェクト) ボタンを押してください。

### ⑤ ►/❚❚(再生/ポーズ) ボタン

- MDを再生します。
- 録音待機状態のときに、押すと録音を開始します。
- 再生中／録音中に押すと一時停止します。もう一度押すと、一時停止が解除されます。

### ⑥ OPEN ボタン

- 押すとフロントドアが前方向に開きます。

### ⑦ ▲(イジェクト)ボタン

- MDを取り出すときに押してください。

# フロントパネル

## ⑧ マルチジョグダイヤル
- 再生中の曲番を前後にスキップさせます。
- ダイヤルを回して再生したい曲番を選ぶと自動で演奏が始まります。
- 編集モード時に編集機能を選んだり、タイトル編集のときに文字を選びます。
- 録音中、録音一時停止のとき回すと録音レベルを選べます。
- ダイヤルを押すと、各種の設定内容を確定します。
- タイトル入力のときに押すとスペース(空白)を入力します。

## ⑨ リモートコントロールセンサー
- 付属のリモコンをこの受光部に向けて操作してください。

## ⑩ ◄◄(早戻し)ボタン
- 再生中の曲を早戻しします。
- タイトル編集の文字入力のときに、カーソルを移動させます。

## ⑪ ►►(早送り)ボタン
- 再生中の曲を早送りします。
- タイトル編集の文字入力のときに、カーソルを移動させます。

## ⑫ REC ボタン
- 録音可能なMDが入っているときにこのボタンを押すと、録音待機状態になります。

## ⑬ EDITボタン
- 押すと編集モードに切り替わります。
- 編集内容を確定する場合にも使用します。

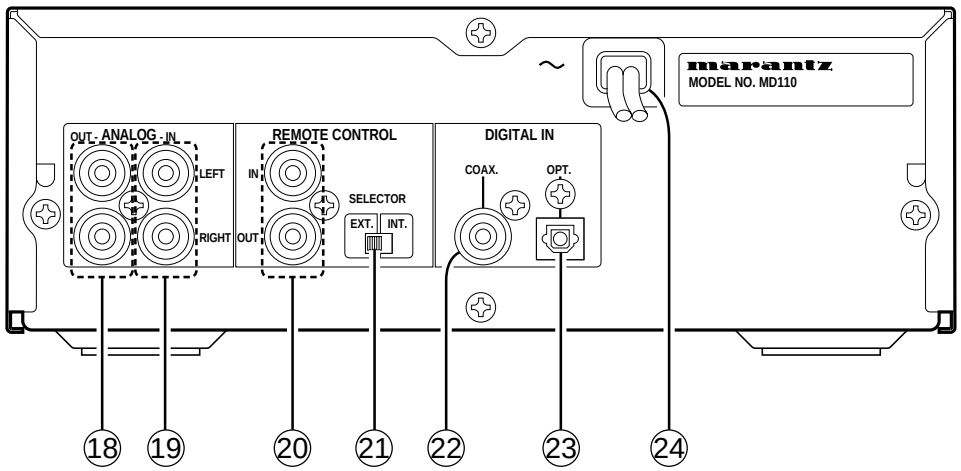
## ⑭ DUBB. ボタン (CDシンクロダビング機能)
- CDダビングを行います。(当社レシーバーSR110およびCDプレイヤーCD110と接続している場合)

## ⑮ CHARACTER ボタン
- タイトル編集のときに、文字の種類を切り替えます。

## ⑯ REC MODE ボタン
- 録音モード (SP/LP2/LP4) の選択をします。

## ⑰ SOURCE ボタン
- 録音するときの入力信号を切り替えます。
  OPTICAL ：光デジタル入力
  COAX ：同軸デジタル入力
  ANALOG ：アナログ入力(ステレオ録音)

# リアパネル




## ⑱ ANALOG OUT

- MDのアナログ再生信号が出力されます。

## ⑲ ANALOG IN

- 外部機器からのアナログ信号を入力する端子です。

## ⑳ REMOTE CONTROL(**リモコン端子**)

当社レシーバー SR110 のリモコン端子とリモートコントロールケーブルで接続すると､以下の機能が使用できます。

- システム機能(CDダビング機能など)が使用できます。
- レシーバーSR110のPOWERボタンを押すと、本機の電源のスタンバイ/オンも連動します。(リモコンセレクターが"EXT."の場合のみ)
- 本機の再生ボタンを押すと、レシーバーSR110の入力セレクターは自動的に｢MD｣に切り替わり、再生を始めます。(リモコンセレクターが"EXT."の場合のみ)

## ㉑ SELECTOR (**リモコンセレクター**)

- 当社レシーバーSR110のリモートコントロール端子と本機のリモートコントロール端子を接続した場合は"EXT."側にしてください。
- その他の場合(MD110単独でお使いの場合)は"INT."側にしてください。

## ㉒ COAX. (**同軸デジタル入力端子**)

- 同軸デジタル信号を入力する端子です。
- 本機は同軸デジタル出力端子つきのオーディオ機器などと接続してデジタル録音ができます。

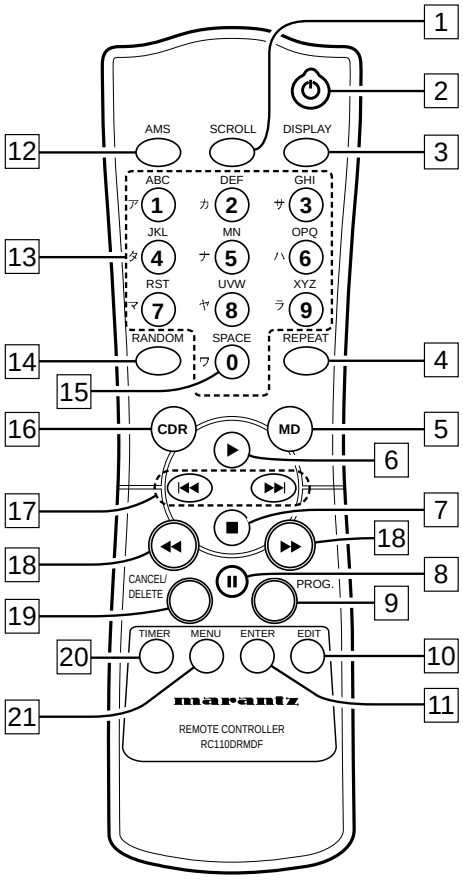
## ㉓ OPT. (**光デジタル入力端子**)

- 光デジタル信号を入力する端子です。
- 本機は光デジタル出力端子つきのCDプレーヤーやDAT (デジタルオーディオテープデッキ)などと接続してデジタル録音ができます。

## ㉔ **電源コード**

- 接続がすべて終了したら、家庭用電源コンセントに接続してください。

# リモコン




### 1 SCROLL ボタン

- MDにディスク名や曲名がついている場合は、このボタンを押すとディスク名、曲名をスクロールして表示します。もう一度押すと元の表示に戻ります。

### 2 ⏻(STANDBY) ボタン

- 本機電源のスタンバイ／オンを切り替えます。ただしシステム機能でご使用される場合、当社レシーバーSR110のパワーボタンに連動するために、このボタンは無効となります。

### 3 DISPLAYボタン

- ディスプレイの表示を切り替えます。

### 4 REPEATボタン

- ディスク全曲または1曲をリピート再生するときに使用します。

### 5 MD ボタン

- リモコンのボタン機能がMD用に切り替ります。
- リモコンで操作する場合、必ず最初にこのボタンを押してください。

### 6 ►(再生)ボタン

- MDを再生します。
- 録音待機状態のときに押すと、録音を開始します。

### 7 ■(ストップ)ボタン

- 再生、録音、各種操作を停止するときに使用します。

### 8 ⏸(ポーズ)ボタン

- 再生中／録音中に押すと一時停止します。一時停止を解除するには►(再生)ボタンを押します。

### 9 PROGRAMボタン

- 聞きたい曲を順にプログラムできるプログラムモードに切り替えます。

# リモコン

### 10 EDITボタン
- 押すと編集モードに切り替わります。
- 編集内容を確定する場合にも使用します。

### 11 ENTERボタン
- 各種の編集内容を確定するときに使用します。

### 12 AMS(オートミュージックスキャン)ボタン
- 押すと自動的に、曲の頭だけを10秒間づつ再生します。

### 13 数字キー
- 曲番を選択するときに使用します。
- タイトル編集のときに文字を選びます。

### 14 RANDOM(ランダム)ボタン
- 曲をランダム再生するときに使用します。

### 15 0 / SPACE(スペース)ボタン
- タイトル編集の文字入力のときに、スペース(空白)を入力します。

### 16 CDR ボタン
- リモコンのボタン機能がCDR用に切り替ります。MDデッキをリモコン操作する場合は押さないでください。

### 17 ⏮ ／ ⏭(スキップ)ボタン
- 再生中の曲番を前後にスキップさせます。
- このボタンを押して再生したい曲番を選ぶと、自動で演奏が始まります。
- 編集モード時に編集機能を選んだり、タイトル編集のときに文字を選びます。
- 録音中、録音一時停止のとき押すと録音レベルを選べます。

### 18 ◀◀ ／ ▶▶(早送り／早戻し)ボタン
- 再生中の曲を早送り／早戻しします。
- タイトル編集の文字入力のときに、カーソルを移動させます。

### 19 CANCEL/DELETEボタン
- 各編集内容、プログラム設定内容の取り消しに使用します。

### 20 TIMERボタン
- 3秒以上押すと、時間設定モードに切り替わります。
- 1回押すと、タイマー再生設定モードに切り替わります。
- 2回押すとタイマー再生設定のON/OFF設定モードに切り替わります。
- 当社レシーバーSR110とシステムとしてお使いになる場合、このボタンは無効となります。SR110のシステムタイマーが有効になります。

### 21 MENUボタン
- 押すと録音モード設定／録音レベル設定のメニューモードに切り替わります。

# リモコン

## リモコンの使用方法

### 使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光が当たっていると、リモコンが操作できない場合があります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンの上に本などの物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

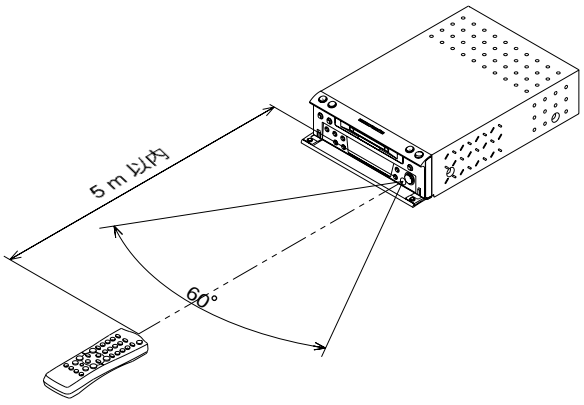
### 電池についてのご注意

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。
以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 乾電池は絶対に充電しないでください。
- 長期間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

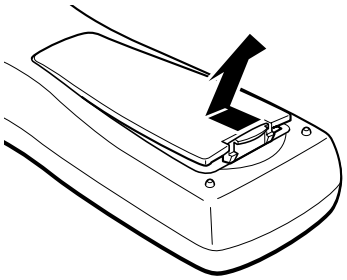
### リモコン操作範囲

リモコンは 下図のように本機より 5m 以内、リモコン受光部より左右 60 ° の範囲でお使いください。

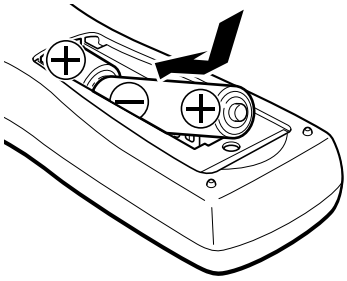



### 電池の入れ方

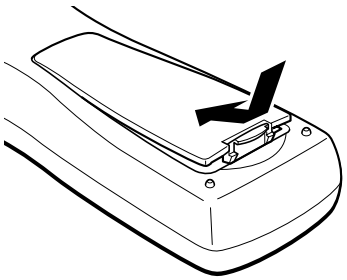
**1.** **リモコン裏面の電池フタのツマミを矢印の方向につまみ、上に引き上げます。**



**2.** **新しい単3形乾電池2本を、極性表示(＋：プラスと－：マイナスの向き)に注意し、表示通りに正しくセットしてください。**



**3.** **電池フタを元の位置にセットし、矢印の方向へ押して閉めます。**



⚠注意

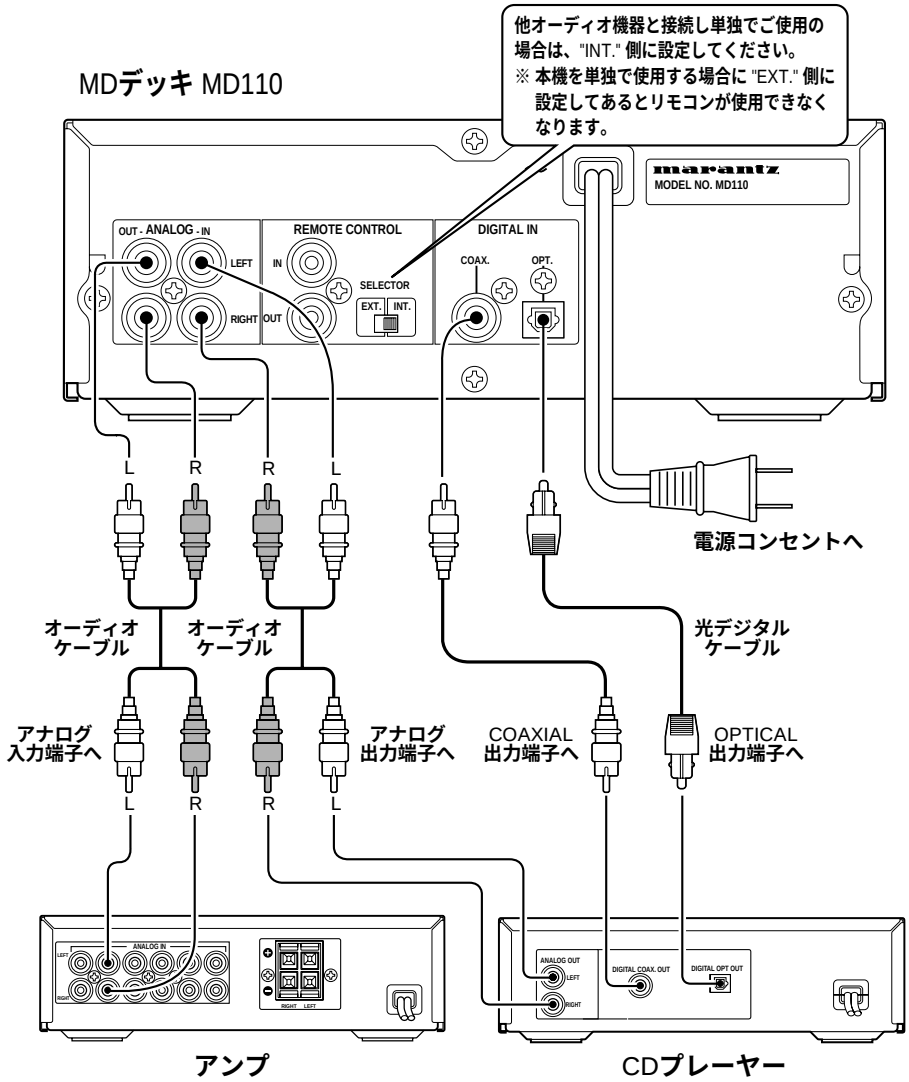
**古い乾電池と新しい乾電池を一緒に使用しないでください。腐食の原因となることがあります。**

# 接続方法

**接続時の注意**

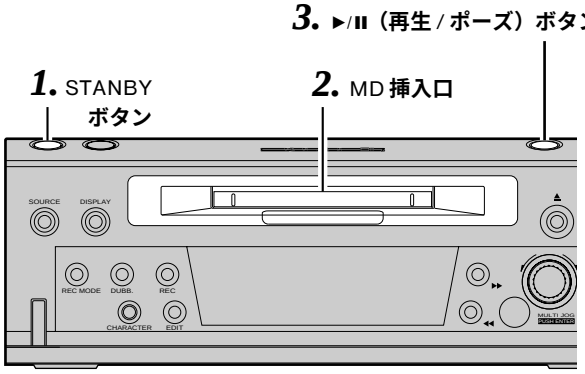
- **交流 100 ボルト以外の電圧を使用しないでください。火災、感電の原因になります。**
- **電源の抜き差しは必ずプラグを持って行なってください。**
- **全ての接続が終わってから電源コードを差し込んでください。**
- **オーディオケーブルのプラグは、L（白）、R（赤）を正しく接続してください。**
- **光デジタルケーブルは奥までしっかり差し込んでください。**
- **光デジタルケーブルを接続する際は、接続端子のキャップを外してご使用ください。また、使用しない場合はほこりなどが入らないようにキャップは付けておいてください。**
- **アンプや CD プレーヤー等と接続する際は機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。**
- **当社レシーバー SR110、CD プレーヤー CD110 等とシステム接続する際は、レシーバー SR110 の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。**

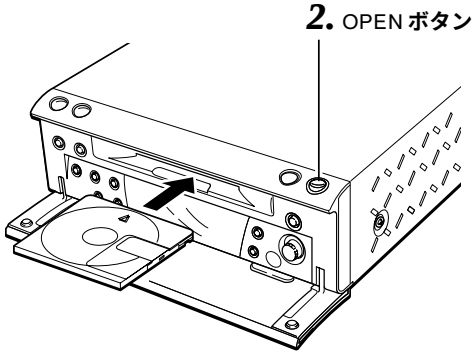
## 他オーディオ機器との接続

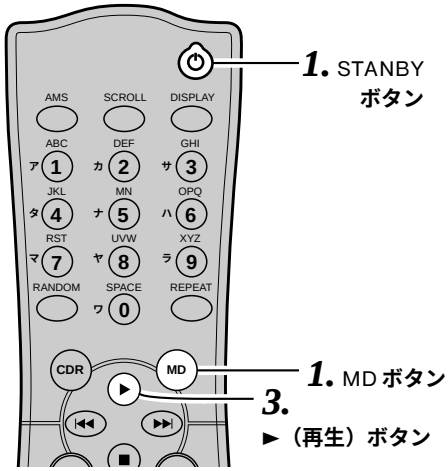


# MDを聞く

## 1曲目から聞く

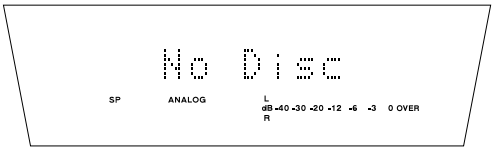


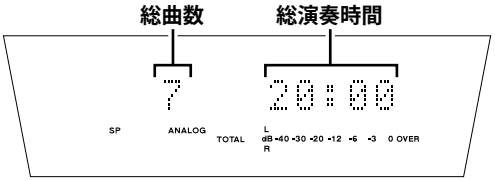

***1.*** STANBY**ボタンを押して電源を入れます。**

- リモコンで操作する場合は、MDボタンを押します。

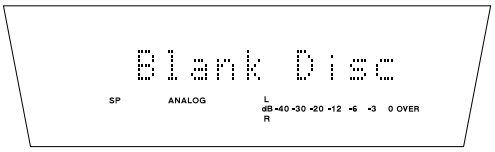



***2.*** OPEN**ボタンを押してフロントドアを開け、**MD**をMD挿入口へ入れます。**

- MDのラベル面を上にして、矢印の向きに入れてください。
- MDを入れると、表示部に"Toc Reading"が点滅された後、MDの総演奏時間が表示されます。

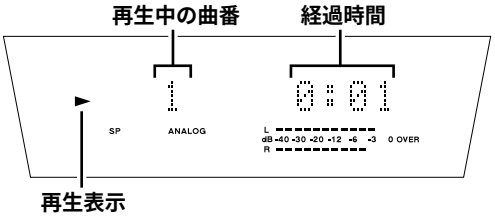



- 何も録音されていないMDの場合は、"Blank Disc"を表示します。

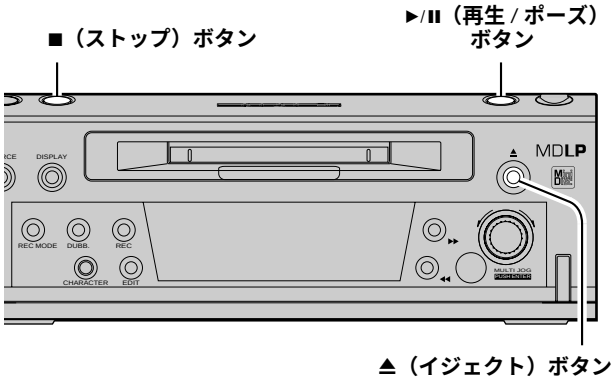



***3.*** **本体の ▶/II ボタンまたはリモコンの ► ボタンを押します。**

- 一曲目から再生が始まります。

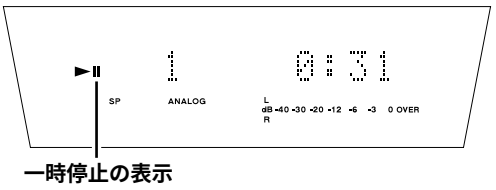


# 1曲目から聞く




## 再生を一時停止するには

1. 本体の ►/II ボタンまたはリモコンの II ボタンを押します。



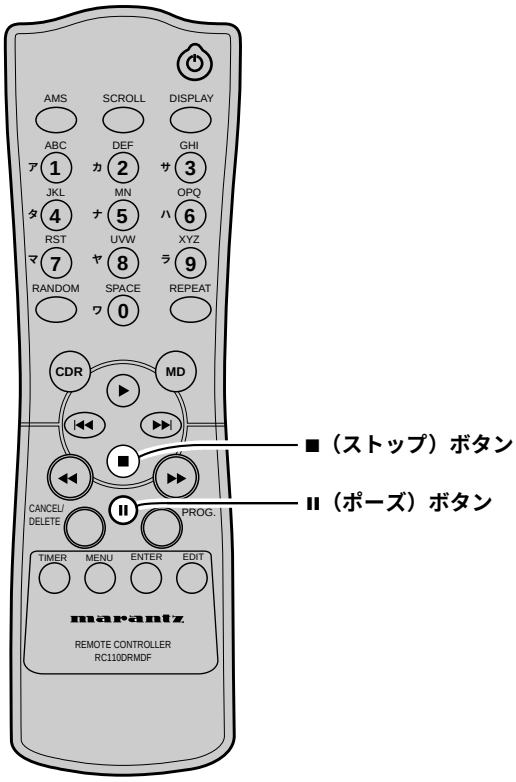

- 再び再生を始めたいときは、本体の ►/II ボタンまたはリモコンの ► ボタンを押します。

## 再生をやめるには

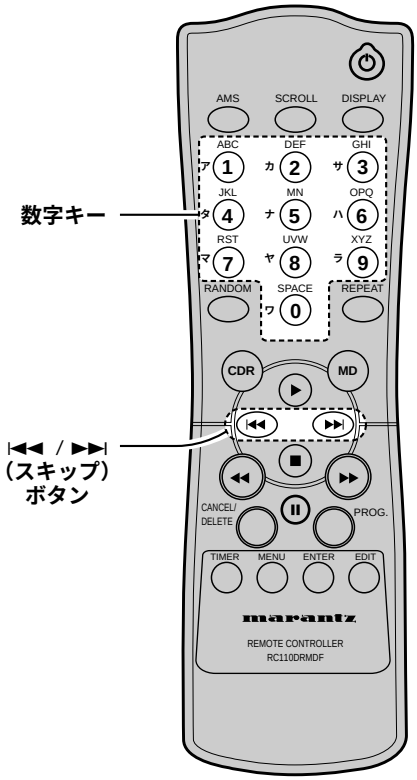
1. ■ ボタンを押します。

## MD を取り出すには

1. ▲ ボタンを押します。



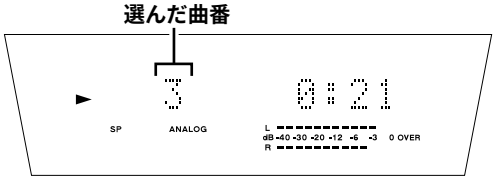
# 聞きたい曲から再生するには

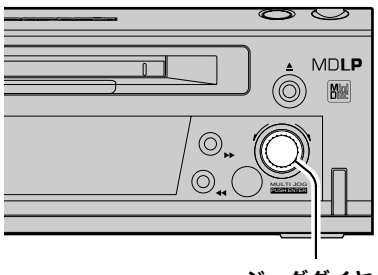



## リモコンを使って曲を選ぶ

**1.** **リモコンの数字キーか |◄◄/►►| ボタンを押して曲番を選びます。**
**曲番を選ぶと自動で演奏が始まります。**

- |◄◄/►►| ボタンは、希望する曲番になるまで続けて押してください。



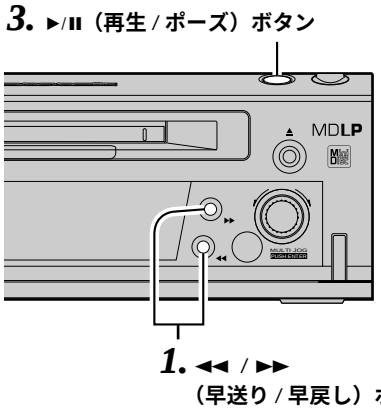




## ジョグダイヤルを使って曲を選ぶ

**1.** **ジョグダイヤルを回して曲番を選びます。**
**曲番を選ぶと自動で演奏が始まります。**

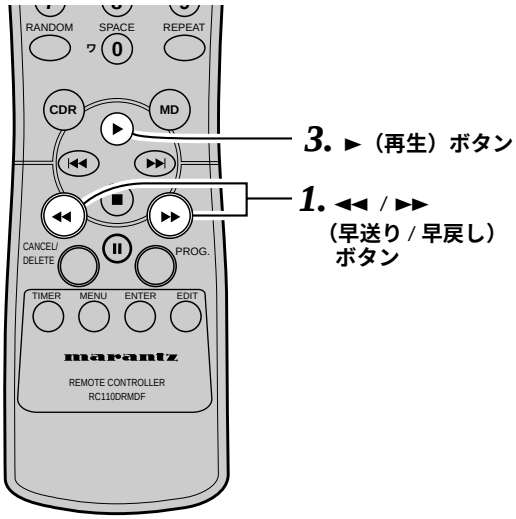
- 再生中の曲を中止して後の曲を選ぶには、ジョグダイヤルを右に回します。
- 再生中の曲をもう一度頭から聞いたり、前の曲を選ぶには、ジョグダイヤルを左に回します。
- プログラムモードでは、プログラムされた順番に前または後ろの曲にスキップします。

# 聞きたい部分を探すには



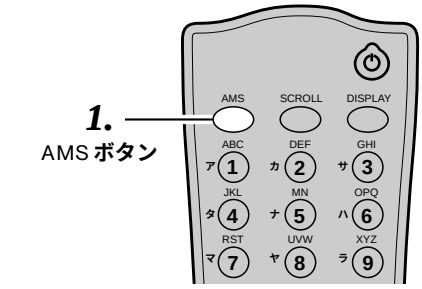

## 曲を聞きながら探す（再生中）

1. 再生中に ▶▶ ボタンまたは ◀◀ ボタンを押し続けます。
2. 聞きたい部分が見つかったら指をはなしてください。




## 時間表示を見ながら探す（一時停止中）

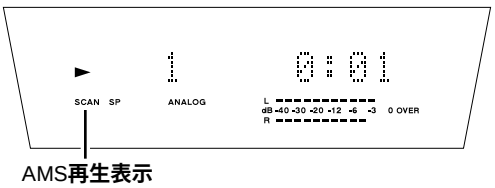
1. 一時停止中に ▶▶ ボタンまたは ◀◀ ボタンを押し続けます。
2. 聞きたい部分の時間表示が見つかったら指をはなしてください。
3. 本体の ▶/II ボタンまたはリモコンの ▶ ボタンを押すと、聞きたい部分から再生を始めます。



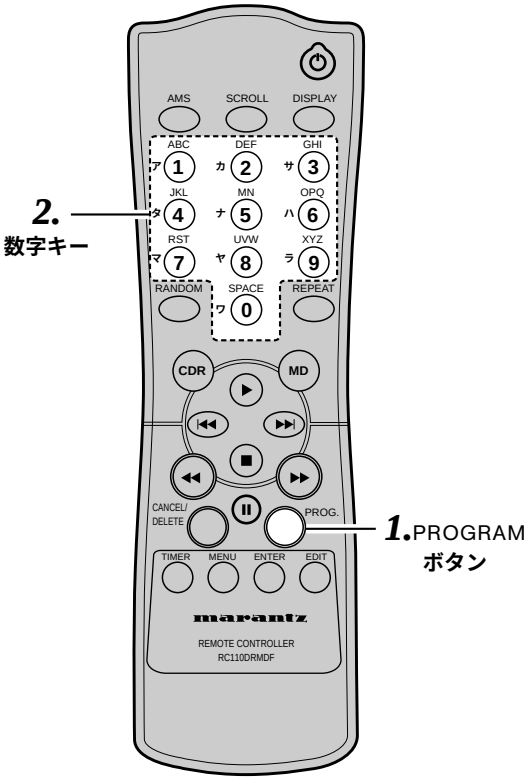

## AMS（オートミュージックスキャン）再生

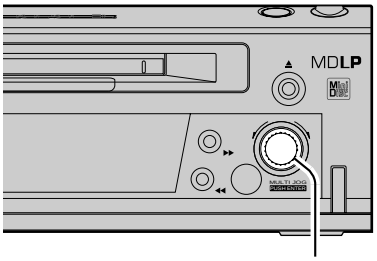
聞きたい曲の頭だけを 10 秒間ずつ再生します。（リモコンのみの操作です。）

1. 再生中または停止中にリモコンのAMSボタンを押すと、曲の頭だけを10秒間ずつ再生します。
   - 再生したい曲のところでリモコンのAMSボタンをもう一度押すと、その曲から再生を始めます。



# プログラム再生

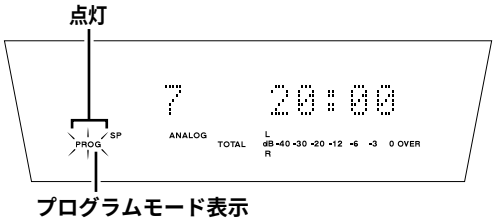


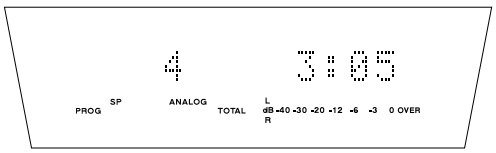

**聞きたい曲を選び、順にプログラムして再生することができます。プログラム曲数は30曲までです。**

## 曲をプログラムするには

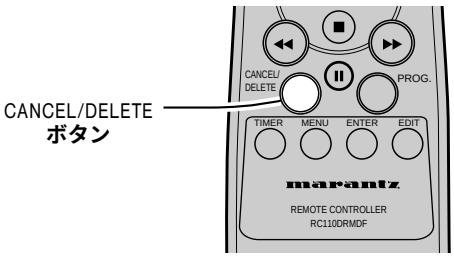
1. **停止中にPROGRAMボタンを押して、プログラムモードに切り替えます。**
   - プログラムモードへの切り替えは、リモコンのみの操作です。
   - もう一度PROGRAMボタンを押すと、プログラムモードは解除されます。




2. **聞きたい曲を順に、リモコンの数字キーで選びます。または本機のジョグダイヤルを回して選びます。決定するには、PROGRAMボタンを押します。**
   - 表示部に曲番とプログラム番号が表示され、プログラム番号が点滅します。点滅が終わるとプログラムが確定されます。



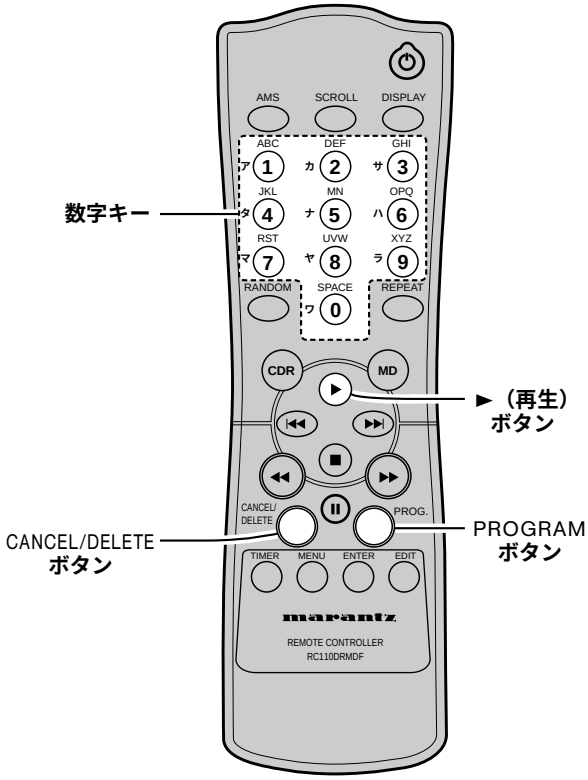

   - 複数の曲をプログラムする場合は、手順2の操作をくり返してください。

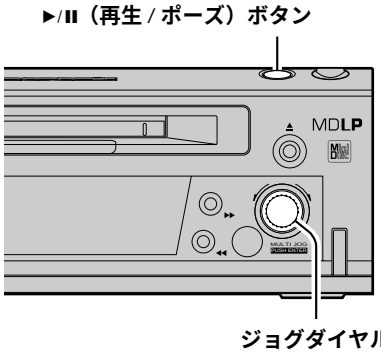



## プログラム曲を取り消すには

1. **リモコンのCANCEL/DELETEボタンを押すと、プログラムされた最後の曲から取り消されます。**
   - プログラム曲の取り消しは、リモコンのみの操作です。

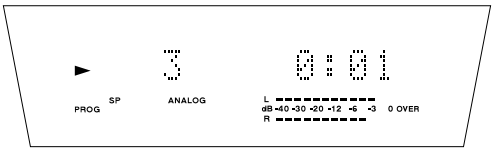
# プログラム再生



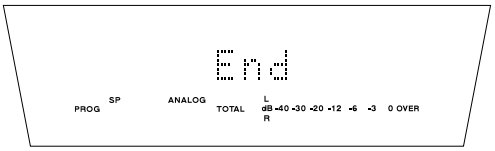

## プログラム曲を聞くには

1. **本体の ►/II ボタンまたはリモコンの ► ボタンを押します。**
   - プログラムした順番に再生されます。




## プログラム内容を確認するには

1. **停止中にリモコンのPROGRAMボタンを続けて押すと、プログラムされた順番に内容を確認できます。**
   - プログラム内容の確認は、リモコンのみの操作です。
   - 最後のプログラム曲を確認した後、PROGRAMボタンを押すと"End"が表示されます。



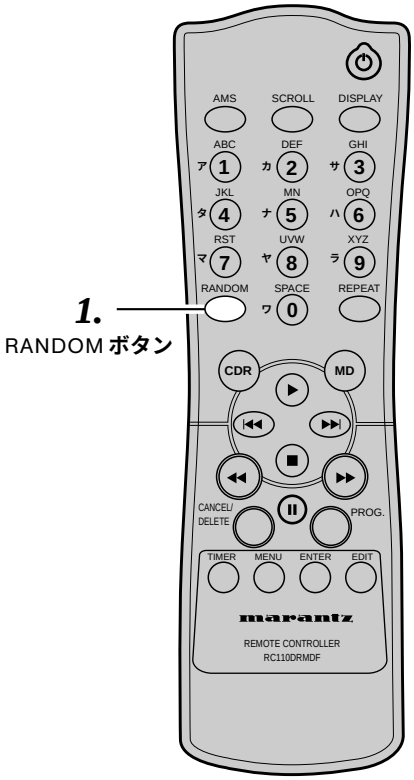

## プログラムに曲を追加するには

1. **プログラムモードで停止中に、聞きたい曲番をリモコンの数字キーで選びます。または本機のジョグダイヤルを回して選びます。決定するには、PROGRAMボタンを押します。**
   - プログラムの最後にプログラム曲が追加されます。

## プログラム再生をやめるには

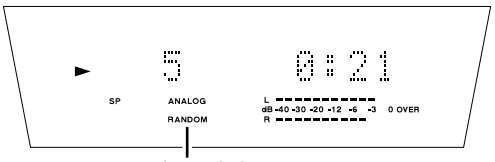
1. **リモコンのCANCEL/DELETEボタンを押し続け、プログラムされた曲を最後から順に全て取り消します。**
   - プログラム曲の取り消しは、リモコンのみの操作です。

# ランダム再生




**録音されている曲を順不同に再生します。(リモコンのみの操作です。)**

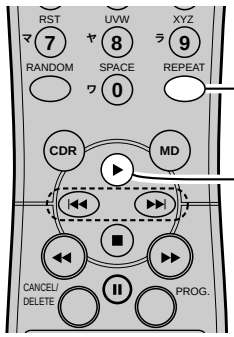
1. **再生中または停止中にリモコンのRANDOMボタンを押すと、ランダム再生します。**
   - ランダム再生中に、リモコンの ▶▶| ボタンを押すと次の曲がランダムに選択されます。また |◀◀ ボタンを押すと現在の曲の頭に戻ります。ランダム再生が終わった曲には戻れません。
   - プログラムモードではランダム再生はできません。




**ランダム再生表示**

# リピート再生

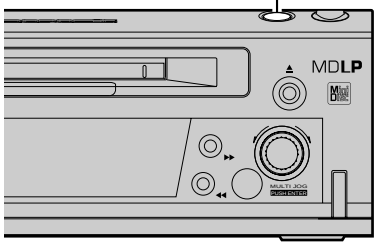
**ディスク全曲または1曲をリピートして再生します。(リモコンのみの操作です。)**




**1.** REPEAT ボタン

**2.** ►（再生）ボタン

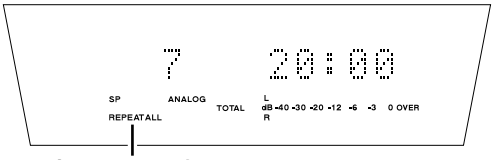
**2.** ►/II（再生 / ポーズ）ボタン




## 全曲をくり返すには

**1.** **停止中にリモコンのREPEATボタンを2回押します。**

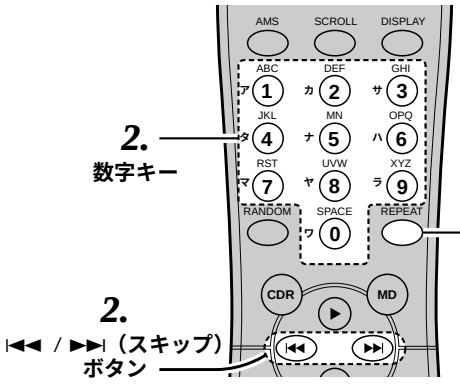
- 表示部に"REPEATALL"が表示されます。




**全曲リピート表示**

**2.** **本体の ►/II ボタンまたはリモコンの ► ボタンを押します。**

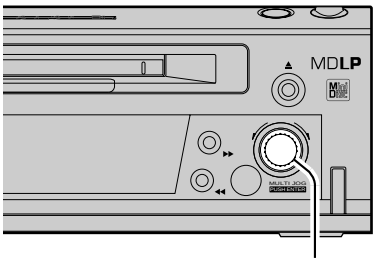
- ディスク全曲がリピート再生されます。
- プログラムモードでリピート再生すると、プログラムした曲順でリピート再生されます。
- ランダム再生中にリピート再生すると、ランダム再生の全曲をくり返すたびに曲順を入れ替えてリピート再生します。
- リピート再生を止めるときは、REPEAT表示が消えるまでREPEATボタンを押してください。




**2.** 数字キー

**1.** REPEAT ボタン

**2.** I◄◄ / ►►I（スキップ）ボタン

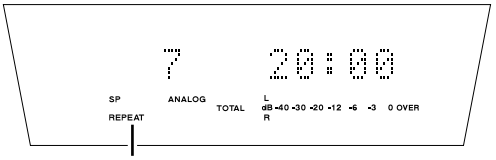



**2.** ジョグダイヤル

## 1曲をくり返すには

**1.** **停止中にリモコンのREPEATボタンを1回押します。**

- 表示部に"REPEAT"が表示されます。




**1曲リピート表示**

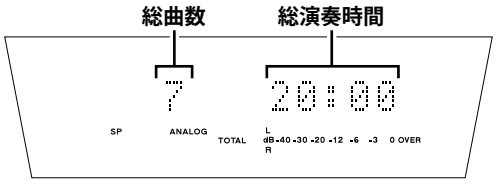
**2.** **リモコンの数字キーか I◄◄/►►I ボタンを押して曲番を選びます。またはジョグダイヤルを回して曲番を選びます。**

- 聞きたい1曲がリピート再生されます。
- プログラムモードの場合、REPEATボタンを押して"REPEAT"表示にした後、本体の ►/II ボタンまたはリモコンの ► ボタンを押してから聞きたい曲を選びます。
- ランダム再生の場合、RANDOMボタンを押し、聞きたい曲の再生中にREPEATボタンを押します。その曲だけくり返し聞くことができます。

# 停止中、再生中の表示

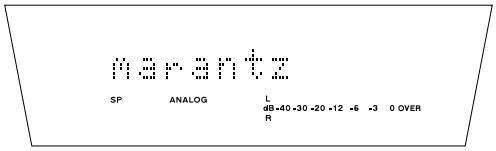
## 1. 録音用 MD を挿入したとき

- MD に録音済みの総時間が表示されます。

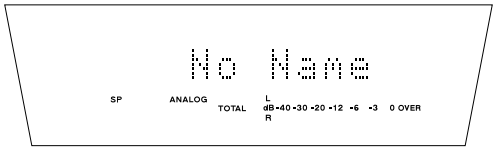



## 2. 停止中に SCROLL ボタンを 1 回押したとき

- MDのディスク名がスクロールされた後、表示されます。

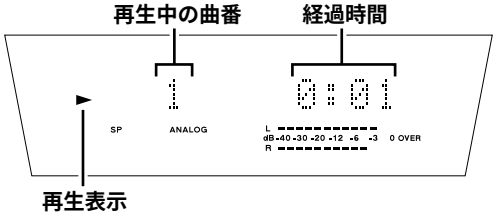



- MDのディスク名がついていない場合は、"No Name" が表示されます。



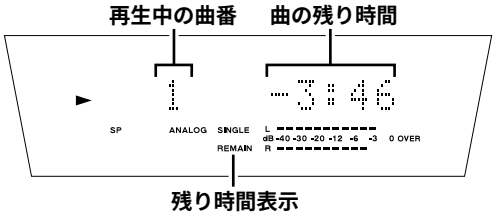

## 3. 再生ボタンを押したとき

- 再生中の曲の経過時間が表示されます。



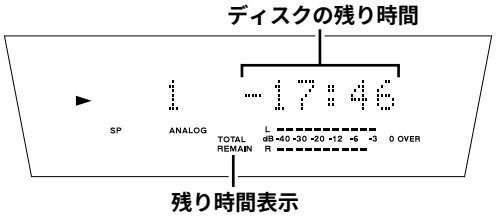

## 4. 再生中に DISPLAY ボタンを 1 回押したとき

- 再生中の曲の残り時間が表示されます。



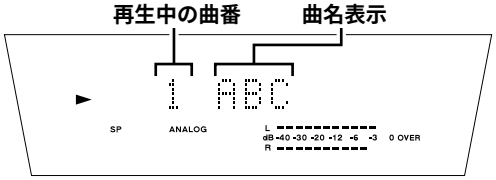

## 5. 再生中に DISPLAY ボタンを 2 回押したとき

- 再生中の MD の残り時間が表示されます。

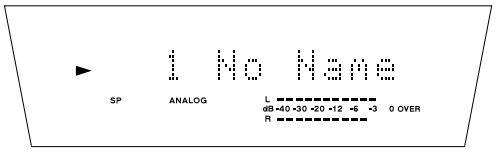



## 6. 再生中に SCROLL ボタンを 1 回押したとき

- MD の曲名がスクロールされた後、表示されます。




- MDの曲名がついていない場合は、"No Name"が表示されます。

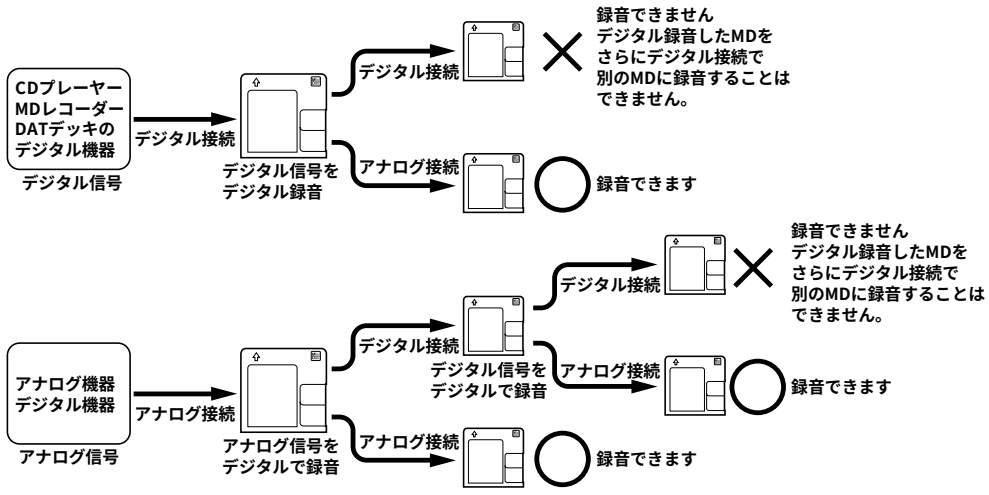


# 録音する

## 録音する前に

### シリアルコピーマネージメントシステム（SCMS）

**デジタル入力で録音したMDをさらに別のMDやDATなどにデジタル録音することはできません。本機は「シリアルコピーマネージメントシステム」の規格に準拠したオーディオ機器です。SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）は各種オーディオ機器の間でデジタルコピーを1回のみと規制したものです。**




以下の表示が出た場合は録音できません。

**"MD Disc Full"**
MDがいっぱいです。不要な曲を消去するか、別のMDを使用してください。

**"MD Protected"**
誤消去防止状態になっています。MDの誤消去防止つまみをスライドさせて孔をふさいでください。

**"MD Play Only"**
再生専用MDには録音できません。録音用のMDを使用してください。

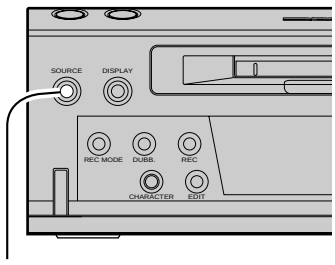
**"Din Unlock"**
システムとのデジタル接続を確認してください。

**"SCMS"**
シリアルコピーマネージメントシステムで制限されているため、デジタル録音はできません。アナログで録音してください。

**"Not Audio Data"**
デジタル入力されている信号がオーディオ信号でないため、録音できません。

# 録音前の設定

**録音するためには、まず入力モードと録音モードを設定します。**



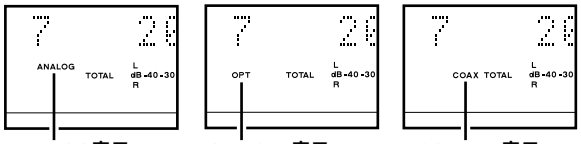

***1.***
SOURCE **ボタン**

## 入力モードの設定

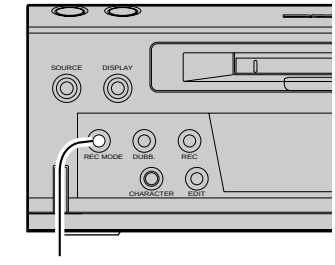
MD に録音する入力信号（ソース）の種類を選びます。

***1.*** **本機の**SOURCE**ボタンを押して、入力ソースを選びます。**

- ANALOG： オーディオピンコードからの入力信号をアナログ録音します。
- OPTICAL： オーディオ用光デジタルケーブルからの入力信号をデジタル録音します。
- COAXIAL： オーディオ用同軸デジタルケーブルからの入力信号をデジタル録音します。




ANALOG**表示**　OPTICAL**表示**　COAXIAL**表示**



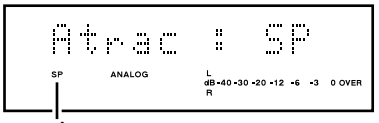

***1.***
REC MODE **ボタン**

## 録音モードの設定

録音モードの種類を選びます。

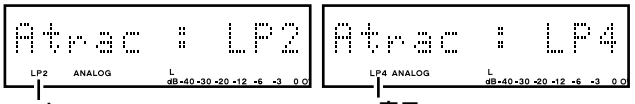
***1.*** **本機の**REC MODE**ボタンを押して、録音モードを選びます。**

- SP： 通常のステレオ録音モードです。録音できる時間はMDに記載されている時間分です。



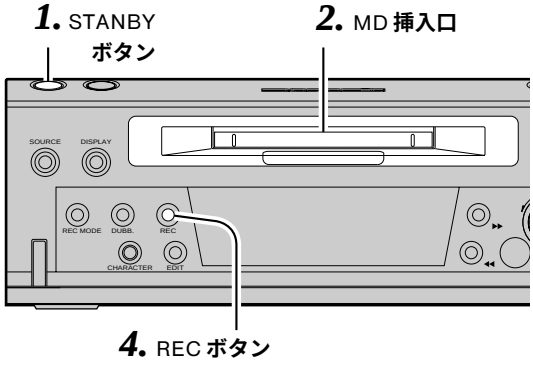

SP**表示**

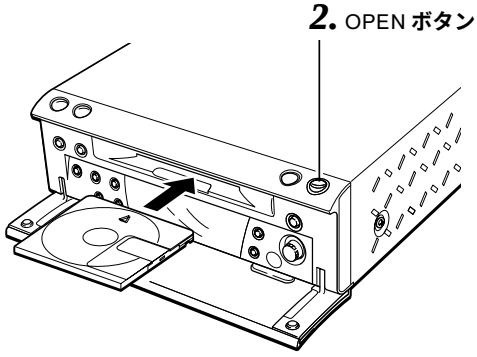
- LP2： 通常のステレオ録音を1/2に圧縮して録音します。録音できる時間が「SP」の2倍になります。
- LP4： 通常のステレオ録音を1/4に圧縮して録音します。録音できる時間が「SP」の4倍になります。

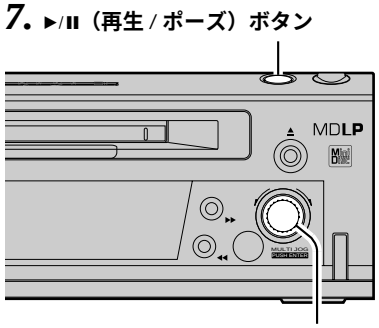


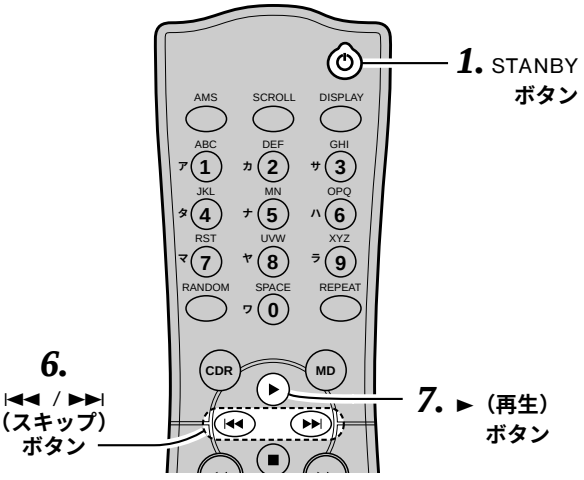

LP2**表示**　LP4**表示**

# 録音のしかた



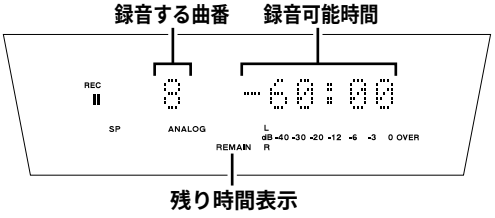

**1.** STANDBY**ボタンを押します。**

**2.** OPEN**ボタンを押してフロントドアを開け、録音用**MD**を**MD**挿入口へ入れます。**

- 途中まで録音してあるMDを入れた場合は、録音済みの部分の終わりから続けて録音されます。
- 録音済みMDを全て消去してから録音するには、ディスク内容を全て消去してから録音してください。（27ページ参照）

**3.** **「録音前の設定」を行います。（20ページ参照）**

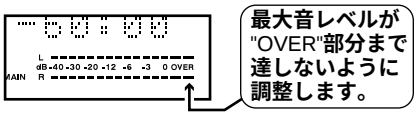
**4.** REC**ボタンを押し、録音待機状態にします。**




**5.** **録音レベルを調整するために、録音するソースを再生します。**

**6.** **ジョグダイヤルを回して、録音レベルを調整します。またはリモコンの I◀◀/▶▶I ボタンを押して調整します。**

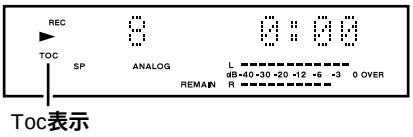
- 録音するソースの音を出し、音が最も大きいときにピークレベルメーターの"OVER"の部分が点灯しないように調整してください。




- 録音レベルを調整した後は、録音するソースの再生を止めます。

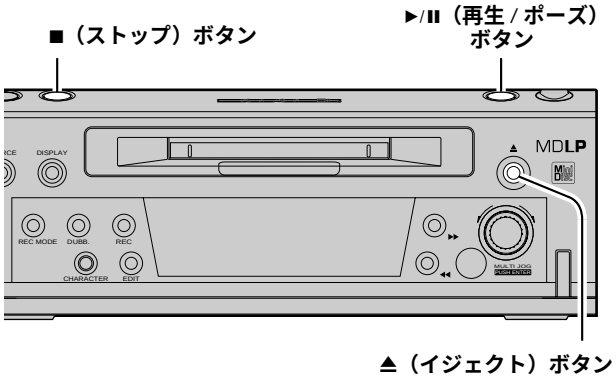
**7.** **本体の ▶/II ボタンまたはリモコンの ▶ ボタンを押してから、録音するソースの再生を始めます。**

- 録音が開始されると表示部に"Toc"が表示されます。




- 録音中は電源プラグをコンセントから抜いたり、本機を揺らしたりしないでください。録音内容を正しく記録できなくなります。

# 録音のしかた




## 録音を一時停止するには

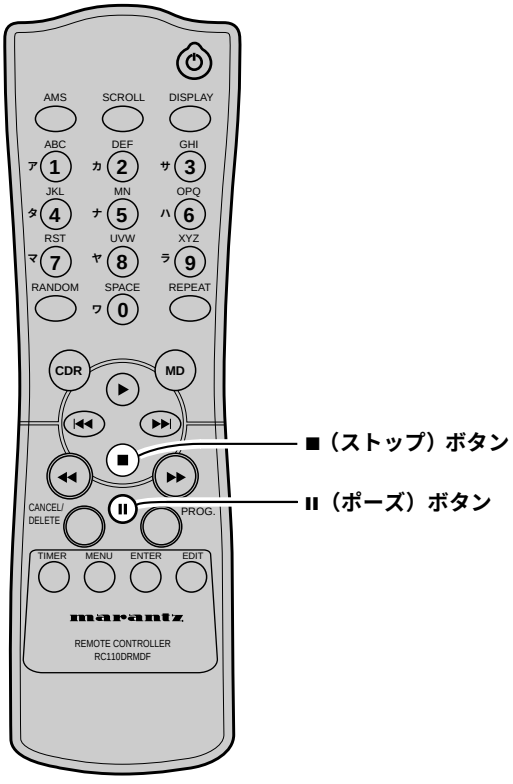
1. **本体の ►/II ボタンまたはリモコンの II ボタンを押します。**
   - 再び録音を始めたいときは、本体の ►/II ボタンまたはリモコンの ► ボタンを押します。
   - 録音を一時停止するたびに、曲番がつきます。

## 録音をやめるには

1. **■ ボタンを押します。**

## MD を取り出すには

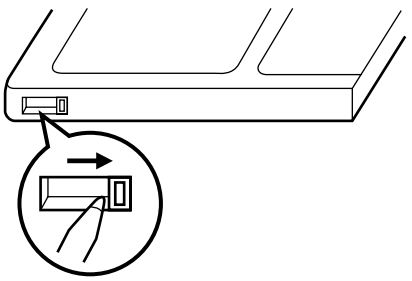
1. **▲ ボタンを押します。**



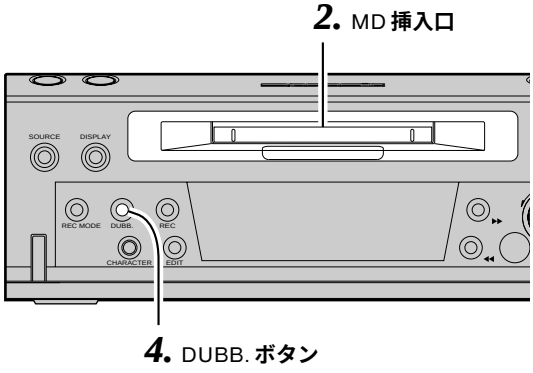

## 録音内容を誤って消さないように

- 再生／録音用 MD には誤録音や誤消去を防止するためのツメが付いています。録音した内容を誤って消さないために、このツメを矢印の方向に動かして孔を開けた状態にしてください。録音内容を保護することができます。

- 再び録音や消去などの編集をおこなう場合は、ツメを元に戻して孔を閉じてください。



# CDシンクロダビング録音



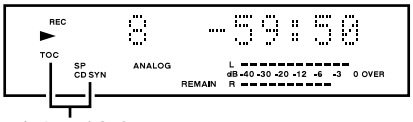

**当社レシーバー SR110 および CD プレーヤー CD110 と本機をリモートコントロールケーブルで接続すると、CDシンクロダビング録音が可能になります。**

1. **CDプレーヤー(CD110)にCDをセットして再生の準備をします。**
   - CDの曲順を変える場合は、CDプレーヤー(CD110)でプログラムしてください。

2. **録音用のMDを入れます。**

3. **「録音前の設定」を行います。(20ページ参照)**

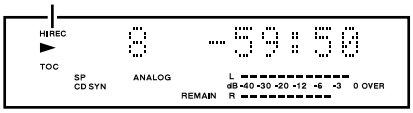
4. **本機のDUBB.ボタンを押すと自動でCDを再生し、同時にMDのダビング録音が開始されます。**
   - 録音が開始されると表示部に"Ｔｏｃ"、"CDSYN"が表示されます。




ダビング中表示

   - また入力ソースがＡＮＡＬＯＧの場合は、DUBB.ボタンを続けて2回押すと、2倍速でダビング録音ができます。このとき、表示部に"HIREC"が表示されます。

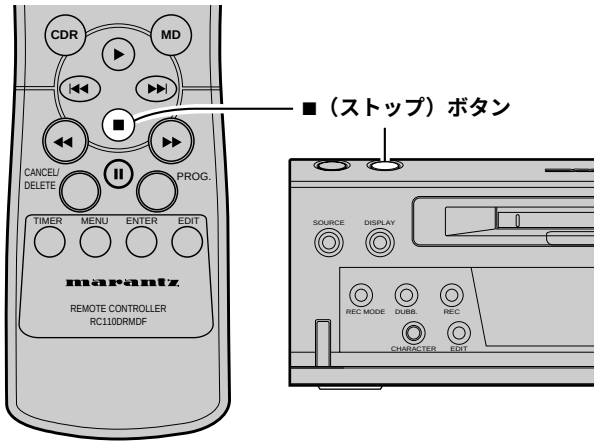
2倍速ダビング表示




**注意**

**OPTICALまたはCOAXIALでは2倍速ダビング録音はできません。**
**ANALOG入力で2倍速ダビング録音を行った場合、ディスクによっては曲番が増えないことがあります。このような場合は、録音後に編集機能' Divide '(31ページ参照)で修正を行ってください。**

   - CDシンクロダビング録音では録音レベルの調整はできません。
   - CDプレーヤーの演奏が全て終わり停止すると、同時にMDの録音も停止します。




## 録音をやめるには

1. **■ ボタンを押します。**
   - CDプレーヤーの演奏とMDの録音が同時に停止します。

# MDを編集する

## 編集する前に

**録音したMDの編集モードには、以下の5つの基本編集機能があります。**

### 1. 曲を消去する

- 1曲または複数の曲を消去する（Quick Erase?）
  選んだ曲のみを一度に消去する機能です。[停止状態での操作]

- 全曲を消去する（All Erase?）
  ディスクに記録されている全ての曲とタイトルを消去する機能です。
  （MDは"Blank Disc"表示になります。）[停止状態での操作]

### 2. 曲を移動する

- 再生中の曲を移動する（Move?）
  再生中の曲を移動する機能です。[一時停止状態での操作]

- 1曲または複数の曲を移動する（Quick Move?）
  1曲または複数の曲を選び一度に移動する機能です。[停止状態での操作]

### 3. 曲を分ける（Divide?）

1曲を2つの曲に分ける機能です。[一時停止状態での操作]

### 4. 曲と曲をつなぐ（Combine?）

1曲を選び、その1つ前の曲とつないで1曲にまとめる機能です。[一時停止状態での操作]

### 5. 編集内容を取り消す（Edit Cancel?）

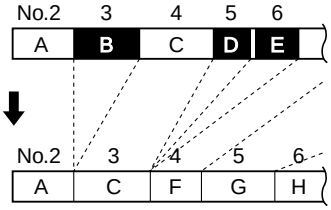
行った編集操作を全て取り消し、本機に挿入する前の状態に戻す機能です。
編集を行った後にMDを取り出すと、編集内容は取り消すことができません。
[MDを取り出すまでの停止状態での操作]

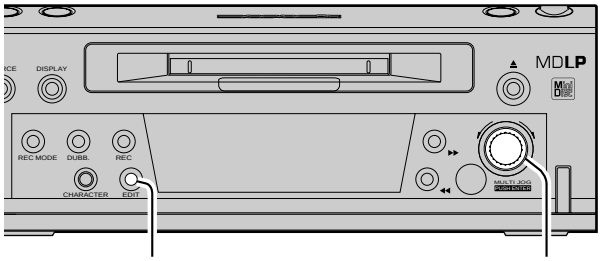
### 編集についてのご注意

- 再生専用のMDは編集できません。
- 「AMS再生」、「RANDOM再生」、「プログラムモード」の状態では編集できません。
- MDの誤消去防止孔が開いた状態では編集できません。"MD Protected"が表示されます。
  必ず誤消去防止孔を閉じた状態で編集してください。

# 1曲または複数の曲を消去する（Quick Erase?）

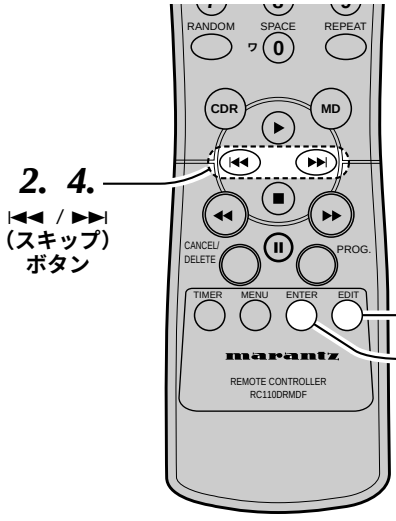
**例：曲番 3,5,6 を消去する場合**




***1.***
EDIT **ボタン**

***2. 3.***
***4. 5.***
**ジョグダイヤル**



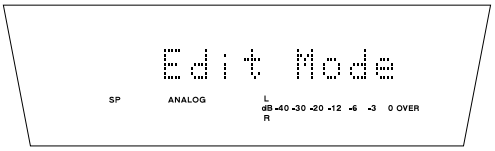

***2. 4.***
**(スキップ)**
**ボタン**

***1.*** EDIT **ボタン**

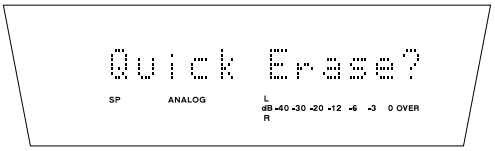
***3. 5.***
ENTER **ボタン**

**選んだ曲のみを一度に消去する機能です。停止中に編集します。**

***1.*** **停止中に**EDIT**ボタンを押します。**

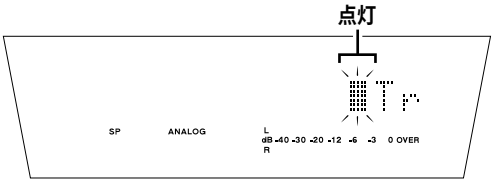



***2.*** **ジョグダイヤルを回して**"Quick Erase?"**を選びます。またはリモコンの** I◄◄/►►I **ボタンで選びます。**

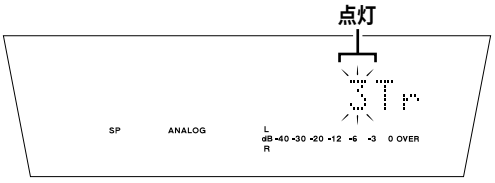



***3.*** **ジョグダイヤルを押します。またはリモコンの** ENTER**ボタンを押します。**

- 表示部に"□Tr"が表示されます。
- 編集作業を中断したい場合は、■ ボタンを押してください。



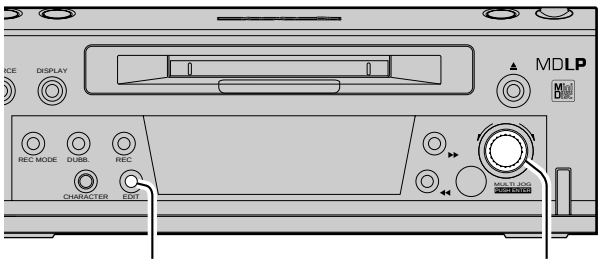

***4.*** **ジョグダイヤルを回して消去する曲番を選びます。またはリモコンの** I◄◄/►►I **ボタンで選びます。**




***5.*** **曲番を選らんだら、ジョグダイヤルを押してください。またはリモコンの**ENTER**ボタンを押します。**

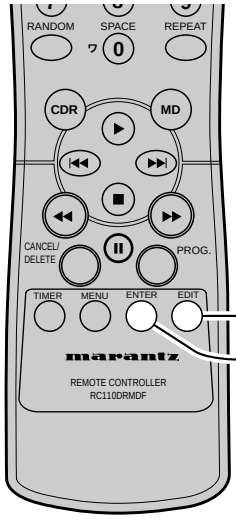
- 消去する曲番を間違えたとき、リモコンの CANCEL/DELETEボタンを押すと、消去した最後の曲番を選び直せます。
- 複数の曲を消去する場合は、手順3と4の操作をくり返してください。

# 1曲または複数の曲を消去する（Quick Erase?）




**6.** EDIT **ボタン**

**7.** **ジョグダイヤル**

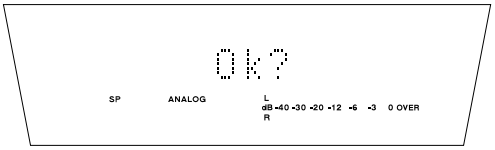



**6.** EDIT **ボタン**

**7.** ENTER **ボタン**

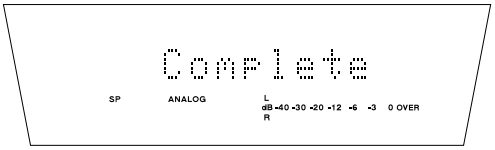
***6.*** **消去したい曲番を選び終わったら、EDITボタンを押します。**

- 表示部に"OK?"が表示されます。




***7.*** **消去するにはジョグダイヤルを押します。またはリモコンのENTERボタンを押します。**

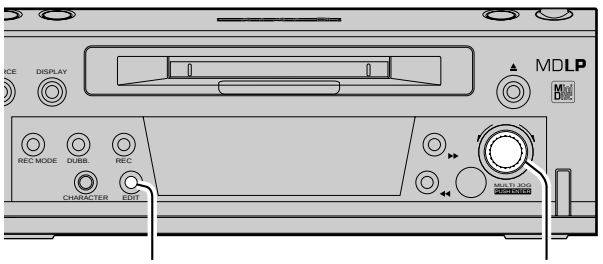
- 表示部に"Complete"が表示され、曲は消去されます。




- "Complete"の表示中は、⏏ ボタンやSTANDBYボタンを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。
- 曲が消去された後は、自動で編集モードが解除されます。

# 全曲を消去する（All Erase?）

**ディスクに記録されている全ての曲とタイトルを消去する機能です。（MD は "Blank Disc" 表示になります。）停止中に編集します。**

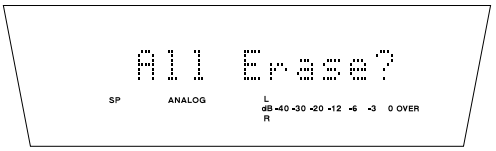



***1.*** EDIT **ボタン**

***2. 3. 4.*** **ジョグダイヤル**

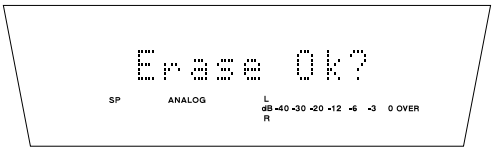
***1.*** **停止中に**EDIT**ボタンを押します。**

***2.*** **ジョグダイヤルを回して**"All Erase?"**を選びます。またはリモコンの** I◄◄/►►I **ボタンで選びます。**



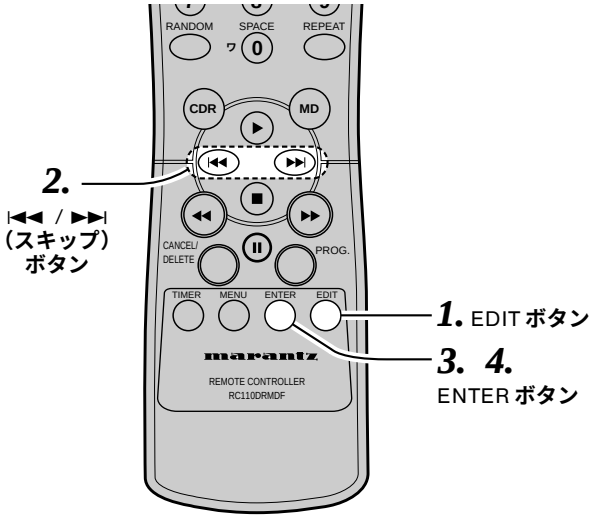

***3.*** **ジョグダイヤルを押します。またはリモコンの**ENTER**ボタンを押します。**

- 表示部に"Erase OK?"が表示されます。
- 編集作業を中断したい場合は、■ ボタンを押してください。




***4.*** **消去するにはジョグダイヤルを押します。またはリモコンの**ENTER**ボタンを押します。**

- 表示部に"Complete"が表示され、曲は消去されます。
- "Complete"の表示中は、⏏ ボタンやSTANDBYボタンを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。
- 曲が消去された後は、自動で編集モードが解除されます。



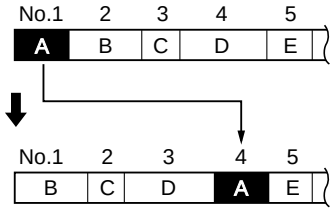

***2.*** I◄◄ / ►►I **（スキップ）ボタン**

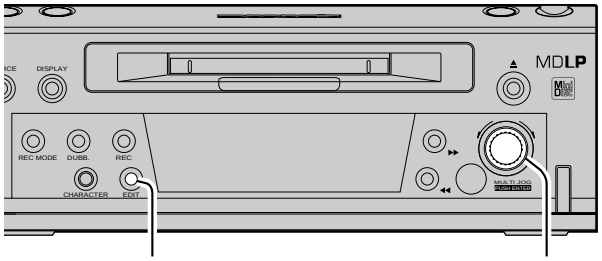
***1.*** EDIT **ボタン**

***3. 4.*** ENTER **ボタン**

# 曲を移動する

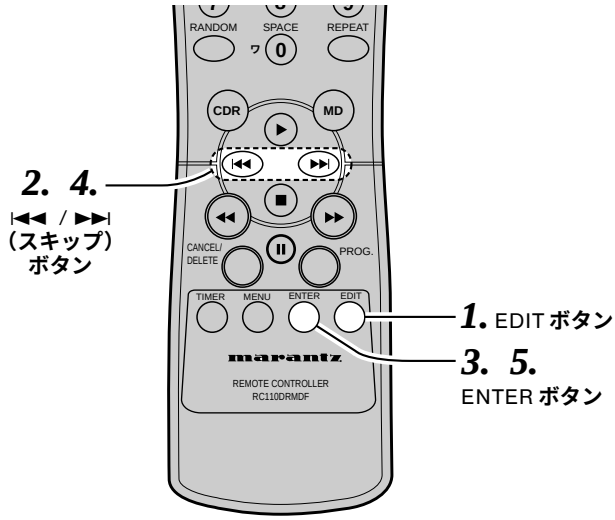
**例： 曲番１を曲番４へ移動する場合**




***1.***
EDIT **ボタン**

***2. 3.***
***4. 5.***
**ジョグダイヤル**




***2. 4.***
**|◄◄ / ►►|**
**(スキップ)**
**ボタン**

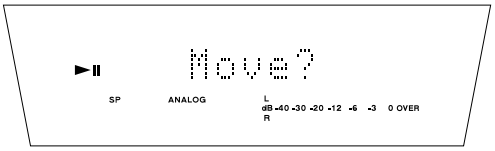
***1.*** EDIT **ボタン**
***3. 5.***
ENTER **ボタン**

## 再生中の曲を移動する (Move?)

**再生中の曲を移動する機能です。曲の一時停止中に編集します。**

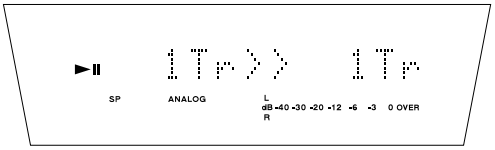
***1.*** **移動したい曲の一時停止中に**EDIT**ボタンを押します。**

***2.*** **ジョグダイヤルを回して**"Move?"**を選びます。またはリモコンの |◄◄/►►| ボタンで選びます。**

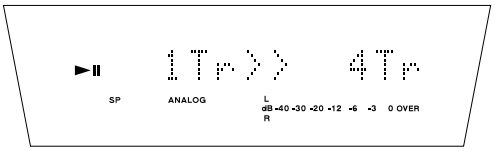



***3.*** **ジョグダイヤルを押します。またはリモコンの**ENTER**ボタンを押します。**

- 表示部に"1Tr >> 1Tr"が表示されます。
- 編集作業を中断したい場合は、■ ボタンを押してください。



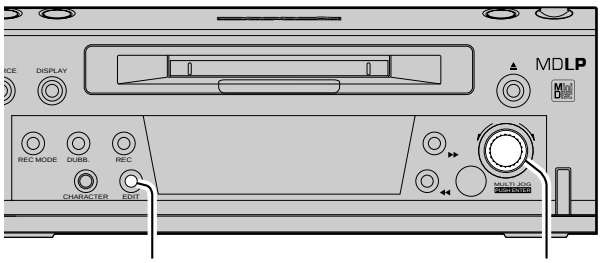

***4.*** **ジョグダイヤルを回して移動先の曲番を選びます。またはリモコンの |◄◄/►►| ボタンで選びます。**




***5.*** **移動するにはジョグダイヤルを押します。またはリモコンの**ENTER**ボタンを押します。**

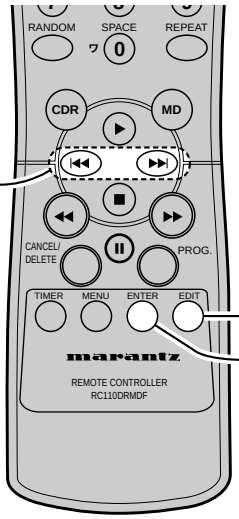
- 表示部に"Complete"が表示され、曲は移動されます。
- "Complete"の表示中は、▲ ボタンやSTANDBYボタンを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。
- 曲が移動された後は、自動で編集モードが解除されます。

# 曲を移動する




*1.*
EDIT ボタン

*2. 3. 4.*
*5. 6.*
ジョグダイヤル




*2. 4.*
*6.*
|◄◄ / ►►|
(スキップ)
ボタン

*1.* EDIT ボタン

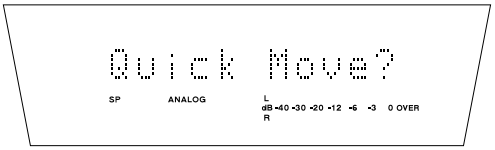
*3. 5.*
ENTER ボタン

## 複数の曲を移動する (Quick Move?)

**1曲または複数の曲を選び一度に移動する機能です。停止中に編集します。**

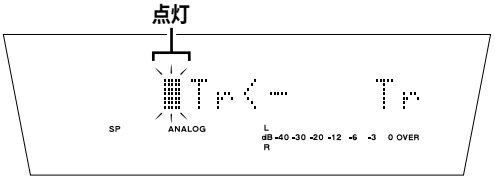
***1.*** **停止中にEDITボタンを押します。**

***2.*** **ジョグダイヤルを回して"Quick Move?"を選びます。またはリモコンの |◄◄/►►| ボタンで選びます。**




***3.*** **ジョグダイヤルを押します。またはリモコンのENTERボタンを押します。**

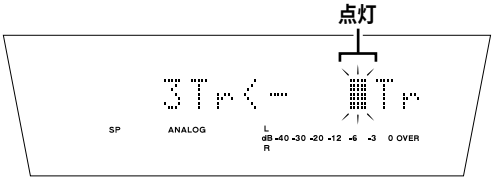
- 表示部に"□Tr <- Tr"が表示されます。
- 編集作業を中断したい場合は、■ ボタンを押してください。




***4.*** **ジョグダイヤルを回して移動先の曲番を選びます。またはリモコンの |◄◄/►►| ボタンで選びます。**

***5.*** **曲番を選んだら、ジョグダイヤルを押してください。またはリモコンのENTERボタンを押します。**

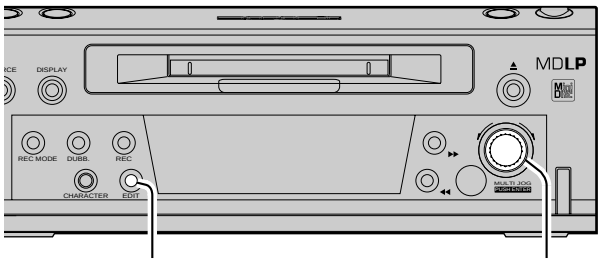
- 例えば曲番3を選んだとき、以下のように表示されます。




***6.*** **ジョグダイヤルを回して移動する曲番を選びます。またはリモコンの |◄◄/►►| ボタンで選びます。**

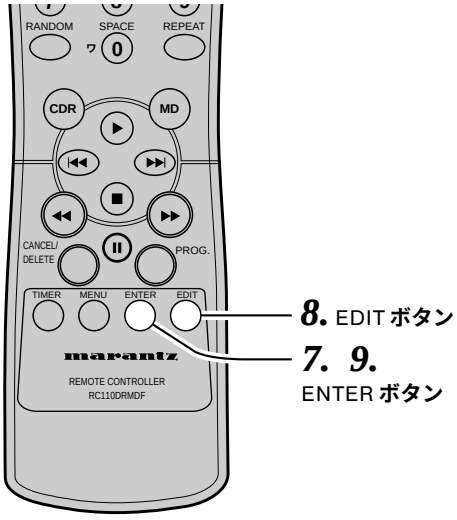
- 移動する曲番、移動先の曲番を間違えたとき、リモコンのCANCEL/DELETEボタンを押すと、1つ前の手順まで戻り選び直せます。

# 曲を移動する




***8.*** EDIT **ボタン**

***7. 9.*** **ジョグダイヤル**

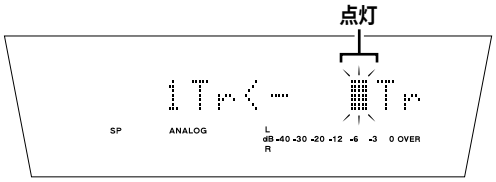



***8.*** EDIT **ボタン**

***7. 9.***
ENTER **ボタン**

***7.*** **曲番を選んだら、ジョグダイヤルを押してください。またはリモコンのENTERボタンを押します。**

- 曲の移動が確定され、手順6での移動した曲番が次に表示されます。
  例えば、移動した曲番が1の場合、表示部に"1Tr <- □Tr"が表示されます。




- 複数の曲を移動する場合は、手順6と7の操作をくり返してください。

***8.*** **移動したい曲番を選び終わったら、EDITボタンを押します。**

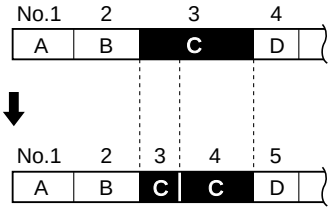
- 表示部に"OK?"が表示されます。

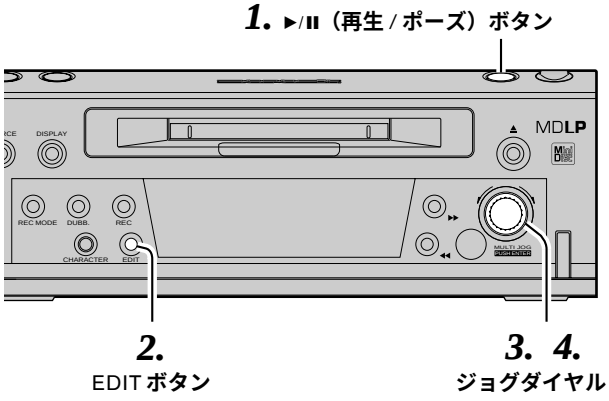
***9.*** **移動するにはジョグダイヤルを押します。またはリモコンのENTERボタンを押します。**

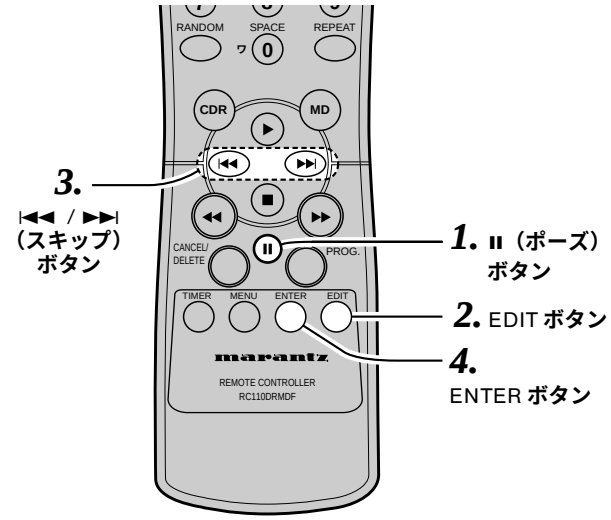
- 表示部に"Complete"が表示され、曲は移動されます。
- "Complete"の表示中は、⏏ ボタンやSTANDBYボタンを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。
- 曲が移動された後は、自動で編集モードが解除されます。

# 曲を分ける（Divide?）

**例：曲番 3 を 2 つに分ける場合**

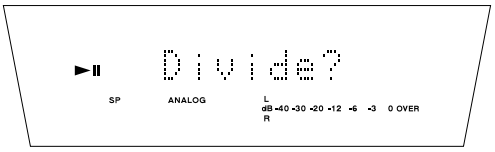


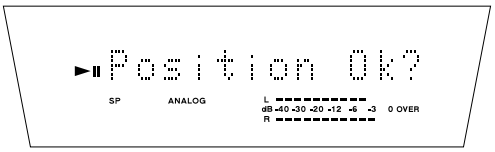




**1 曲を 2 つの曲に分ける機能です。**
**ひとつの曲番に複数の曲が録音されているときや、曲の途中で頭出しのための曲番をつけたいときに、この機能を使います。一時停止中に編集します。**

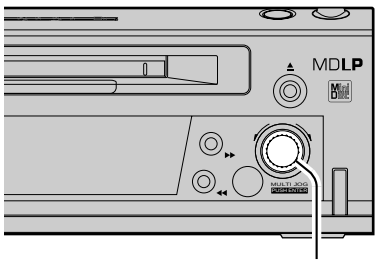
1. 2つに分けたい曲を再生し、曲の分けたい位置で本体の ►/II ボタンまたはリモコンの II ボタンを押します。
2. 曲の一時停止中に、EDITボタンを押します。
3. ジョグダイヤルを回して"Divide?"を選びます。またはリモコンの I◄◄/►►I ボタンで選びます。




4. ジョグダイヤルを押します。またはリモコンの ENTERボタンを押します。
   - 曲の分ける位置を確認するために、分けた曲の頭をくり返し再生します。
   - 表示部に"Position OK?"が表示されます。（曲を分ける位置の確認です。）
   - 編集作業を中断したい場合は、■ ボタンを押してください。



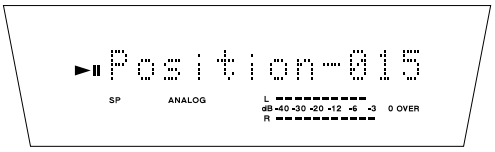
# 曲を分ける（Divide?）




**5. 6.**
**ジョグダイヤル**

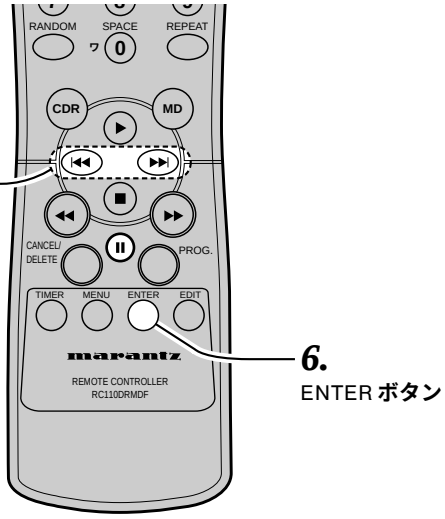
**5.** **分ける位置の微調整は、ジョグダイヤルを回します。またはリモコンの I◄◄/►►I ボタンで選びます。**

- 分ける位置の微調整は－128から＋127までです。1ステップの移動量は0.06秒です。




**6.** **分けるにはジョグダイヤルを押します。またはリモコンのENTERボタンを押します。**

- 表示部に"Complete"が表示され、選んだ曲が2つに分けられます。
- 曲名がついた曲を分けると、分けた前の曲番に曲名が残ります。分けた後ろの曲番には曲名はつきません。
- "Complete"の表示中は、⏏ ボタンやSTANDBYボタンを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。
- 曲を分けた後は、自動で編集モードが解除されます。

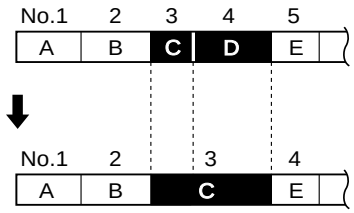


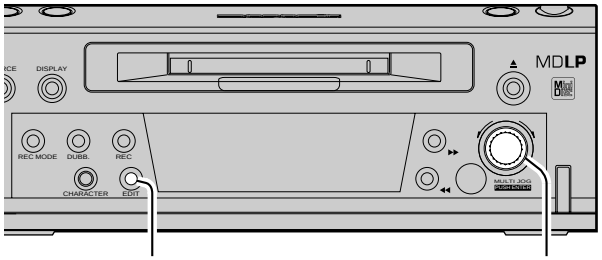

**5.**
**I◄◄ / ►►I (スキップ) ボタン**

**6.**
**ENTER ボタン**

# 曲と曲をつなぐ（Combine?）

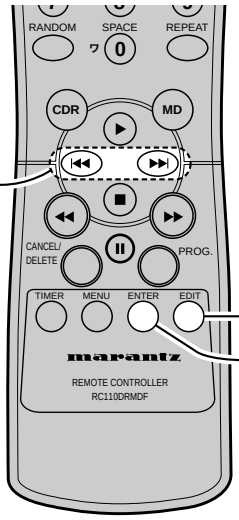
**例：曲番3と曲番4をつなげる場合**




***1.***
EDIT **ボタン**

***2. 3. 4.***
**ジョグダイヤル**




***2.***
**|◄◄ / ►►|（スキップ）ボタン**

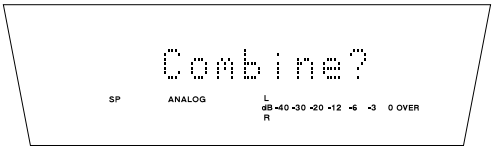
***1.*** EDIT **ボタン**

***3. 4.***
ENTER **ボタン**

**1曲を選び、その1つ前の曲とつないで1曲にまとめる機能です。**
**ただし、デジタル録音の曲とアナログ録音の曲をつなぐことはできません。**
**また異なる録音モードで録音した曲と曲はつなぐことはできません。**

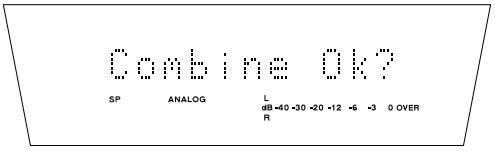
***1.*** **つなぎたい曲の一時停止中に**EDIT**ボタンを押します。**

***2.*** **ジョグダイヤルを回して**"Combine?"**を選びます。またはリモコンの |◄◄/►►| ボタンで選びます。**




***3.*** **ジョグダイヤルを押します。またはリモコンの**ENTER**ボタンを押します。**

- 表示部に"Combine OK?"が表示されます。
- 編集作業を中断したい場合は、■ ボタンを押してください。

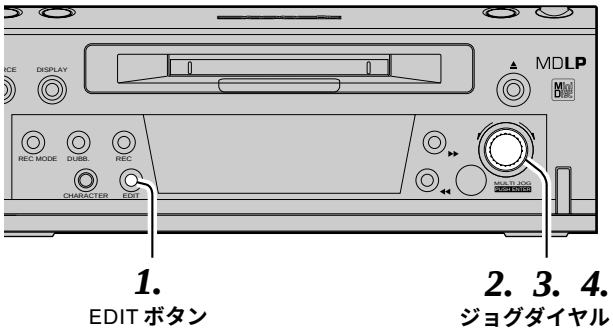



***4.*** **つなぐにはジョグダイヤルを押します。またはリモコンの**ENTER**ボタンを押します。**

- 表示部に"Complete"が表示され、選んだ曲とその前の曲がつながります。
- 両方に曲名がついている場合は、1つ前の曲名が残ります。
- 1つ前の曲のみ曲目がついている場合は、1つ前の曲名が残ります。
- 選んだ曲のみ曲目がついている場合は、曲名はつきません。
- "Complete"の表示中は、⏏ ボタンやSTANDBYボタンを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。
- 曲をつないだ後は、自動で編集モードが解除されます。

# 編集内容を取り消す（Edit Cancel?）

**行った編集動作を全て取り消し、本機に挿入する前の状態に戻す機能です。停止中に編集します。**

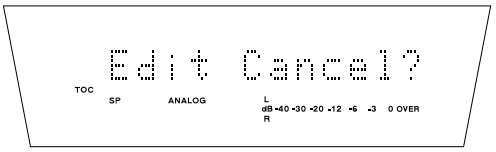



*1.* EDIT ボタン

*2. 3. 4.* ジョグダイヤル

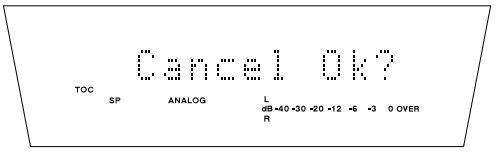
*1.* **停止中にEDITボタンを押します。**

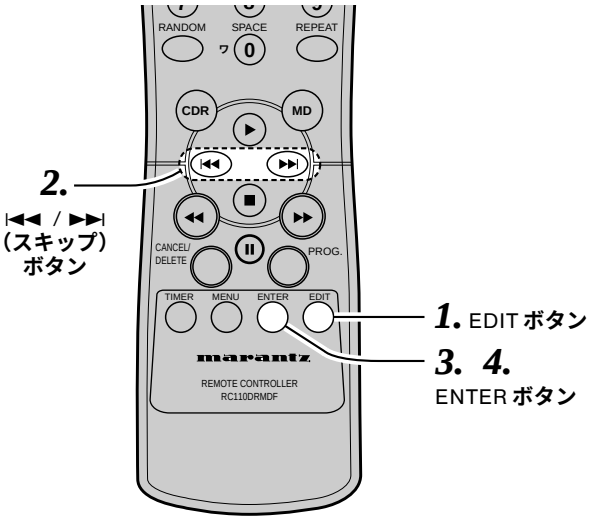
*2.* **ジョグダイヤルを回して"Edit Cancel?"を選びます。またはリモコンの I◄◄/►►I ボタンで選びます。**




*3.* **ジョグダイヤルを押します。またはリモコンのENTERボタンを押します。**

- 表示部に"Cancel OK?"が表示されます。
- 編集作業を中断したい場合は、■ ボタンを押してください。




*2.* I◄◄ / ►►I（スキップ）ボタン

*1.* EDIT ボタン

*3. 4.* ENTER ボタン

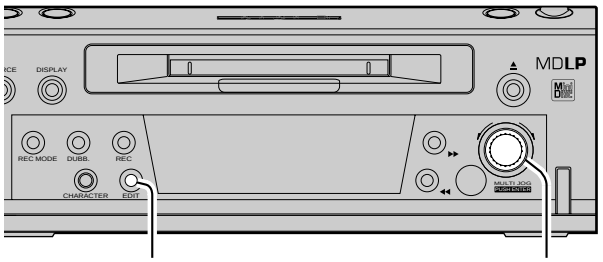
*4.* **取り消すにはジョグダイヤルを押します。またはリモコンのENTERボタンを押します。**

- 表示部に"Complete"が表示され、編集動作は取り消されます。
- "Complete"の表示中は、▲ ボタンやSTANDBYボタンを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。
- 取り消された後は、自動で編集モードが解除されます。

# タイトルを編集する

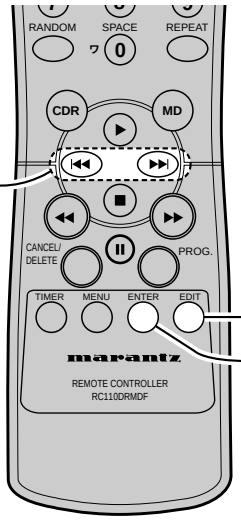
## ディスク名／曲名をつける

**本機では、録音されたMDに1つの「ディスク名」と225曲の「曲名」をつけることができます。1枚のディスクには最大1792文字が入力できます。**
**ディスク名をつけるには停止状態で操作します。**
**曲名をつけるには、その曲の再生中、一時停止中に操作します。**




***1.*** EDIT ボタン

***2. 3.*** ジョグダイヤル




***2.*** |◄◄ / ►►| (スキップ) ボタン

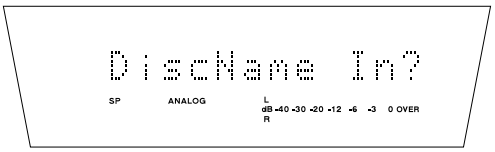
***1.*** EDIT ボタン

***3.*** ENTER ボタン

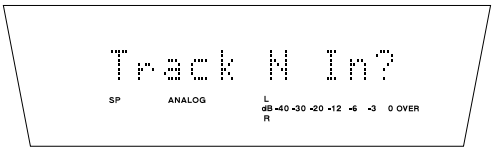
***1.*** **ディスク名をつける場合、一時停止中にEDITボタンを押します。**

**曲名をつける場合は、その曲番が再生中または一時停止中にEDITボタンを押します。**

***2.*** **ディスク名をつける場合、ジョグダイヤルを回して"DiscName In?"を選びます。またはリモコンの |◄◄/►►| ボタンで選びます。**

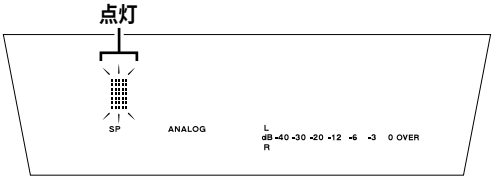



**曲名をつける場合は、"Track N In?"を選びます。**

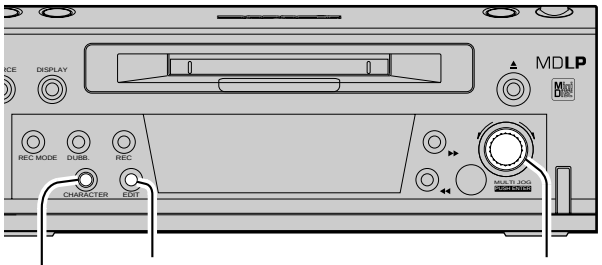



***3.*** **ジョグダイヤルを押します。またはリモコンのENTERボタンを押します。**

- 表示部にカーソルが点滅表示されます。
- 編集作業を中断したい場合は、■ ボタンを押してください。



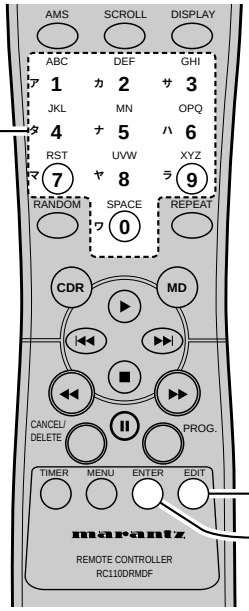
# ディスク名／曲名をつける




**6.** EDIT ボタン

**4.** CHARACTER ボタン

**5.** (1) (2) (3) ジョグダイヤル




**5.** (1) (3) 数字キー

**6.** EDIT ボタン

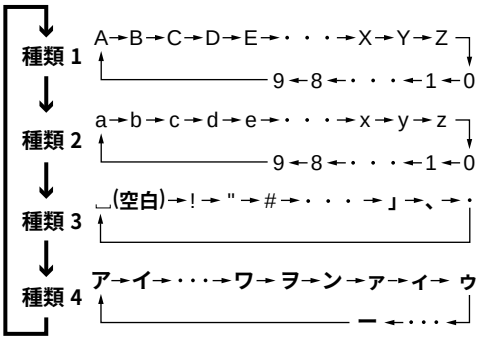
**5.** (2) ENTER ボタン

**＜入力できる文字の種類＞**

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
␣(空白) ! " # $ % & ’ ( ) ✳ + , – . / : ; < = > ? @ [ ¥
] _ ‘ { ¦ } ~ ■ 。 「 」 、 ・
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノ
ハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲン
ァィゥェォャュョッー

**4.** **本機のCHARACTERボタンを押して、入力する文字の種類を選んでください。（本体ボタンのみの操作です。）**

- CHARACTERボタンを押すごとに、以下のように文字の種類がかわります。




- 入力できる文字の種類は左下のとおりです。

**5.** **文字（ディスク名／曲名）を入力します。**

（1） ジョグダイヤルを回して文字を選びます。またはリモコンの数字キーで選びます。

（2） 文字を決定するときは、ジョグダイヤルを押してください。またはリモコンのENTERボタンを押します。

（3） 2文字目以降も続けてジョグダイヤルまたはリモコンの数字キーで、文字を選びます。

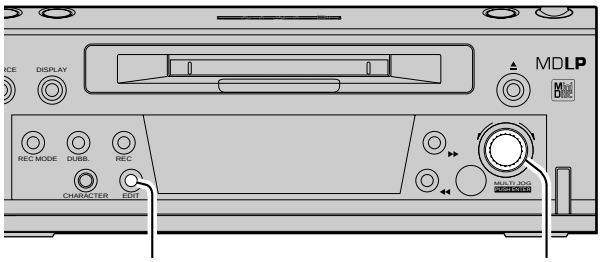
- 文字の種類を変更して入力する場合は、手順4のとおり文字の種類を変更して入力してください。
- タイトルとして入力できる文字数は1曲につき約200文字です。
- 1枚のディスクには最大1792文字が入力できますが、その文字数をこえると"Toc Full"と表示されます。

**6.** **文字の入力が終わったら、EDITボタンを押します。**

- 表示部に入力したタイトルがスクロール表示され、タイトル編集が完了します。
- タイトル編集後は、自動で編集モードが解除されます。

# ディスク名／曲名を消去する

**ディスク名を消去するには停止状態で操作します。**
**曲名を消去するには、その曲の再生中、一時停止中に操作します。**



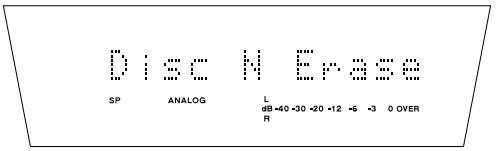

*1.* EDIT **ボタン**

*2. 3. 4.* **ジョグダイヤル**

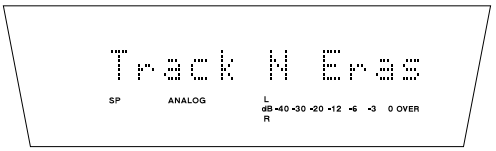
*1.* **ディスク名を消去する場合、停止中に**EDIT**ボタンを押します。**

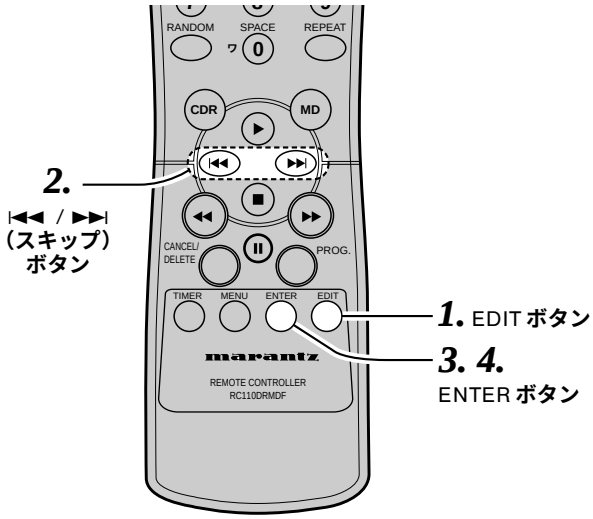
**曲名を消去する場合は、その曲番が再生中または一時停止中に**EDIT**ボタンを押します。**

*2.* **ディスク名を消去する場合、ジョグダイヤルを回して**”Disc N Erase”**を選びます。またはリモコンの** I◄◄/►►I **ボタンで選びます。**




**曲名を消去する場合は、**”Track N Eras”**を選びます。**




*2.* I◄◄ / ►►I **(スキップ) ボタン**

*1.* EDIT **ボタン**

*3. 4.* ENTER **ボタン**

*3.* **ジョグダイヤルを押します。またはリモコンの** ENTER**ボタンを押します。**

- 表示部に"Erase OK?"が表示されます。
- 編集作業を中断したい場合は、■ ボタンを押してください。

*4.* **消去するにはジョグダイヤルを押します。またはリモコンの**ENTER**ボタンを押します。**

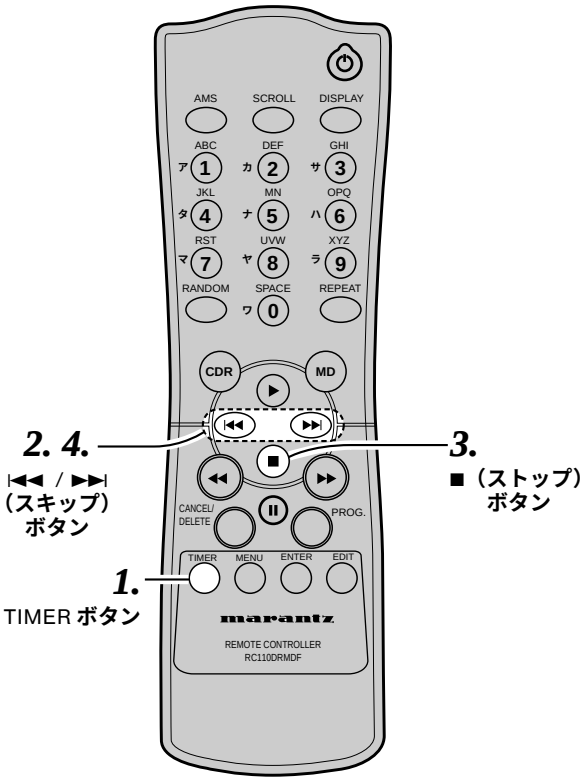
- 表示部に"Complete"が表示され、ディスク名／曲名は消去されます。
- "Complete"の表示中は、⏏ ボタンやSTANDBYボタンを押さないでください。編集作業が中断されてしまうことがあります。
- タイトルが消去された後は、自動で編集モードが解除されます。

# タイマー機能をつかう

## 時間設定をする

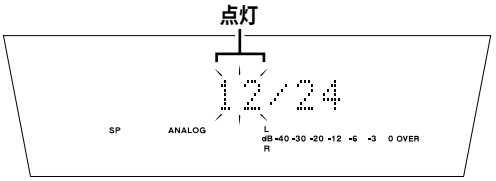
**本機では、再生したい時間を設定してMDを聞くことができます。このタイマー機能をお使いになる場合は、必ず時間設定を行ってください。**

**注意：レシーバー SR110 と接続してシステム機能をお使いになる場合、MD110 のタイマーおよび時間設定は機能しません。SR110 のタイマー機能をお使いください。**




***1.*** **リモコンのTIMERボタンを3秒以上押します。**

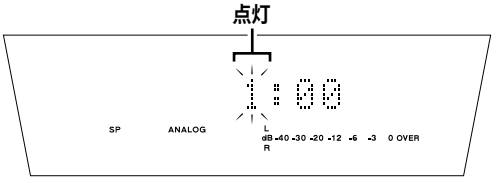
- 表示部に"12／24"が表示され、"12"が点滅しています。（12時間表示／24時間表示の選択）




***2.*** **リモコンの |◄◄/►►| ボタンで12時間表示／24時間表示を選びます。**

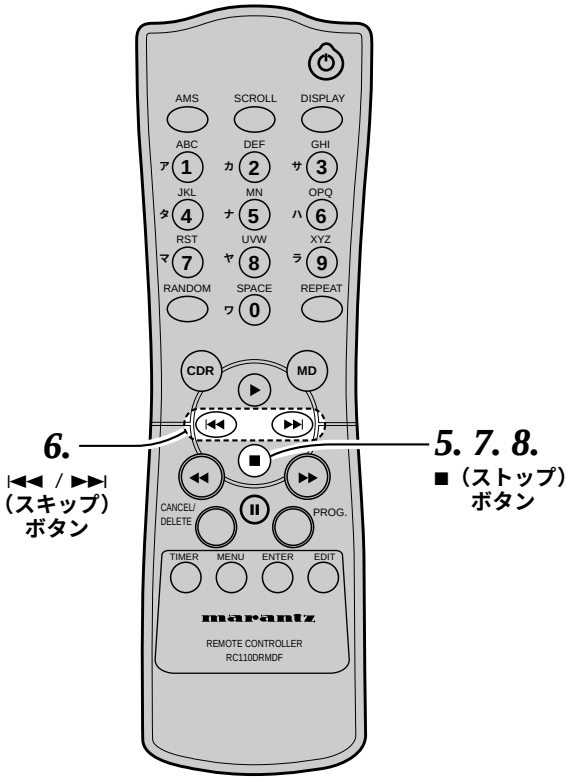
***3.*** **確定するにはリモコンの ■ ボタンを押します。**

- 表示部に時間が表示され、「時」が点滅しています。（「時」の設定）



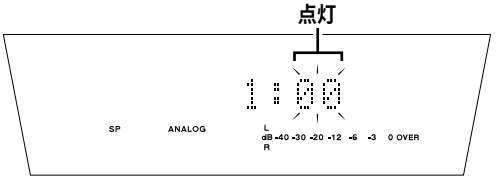

***4.*** **リモコンの |◄◄/►►| ボタンで現在の「時」を設定します。**

# 時間設定をする




**5.** **確定するにはリモコンの ■ ボタンを押します。**

- 表示部に時間が表示され、「分」が点滅しています。（「分」の設定）




**6.** **リモコンの |◄◄/►►| ボタンで現在の「分」を設定します。**

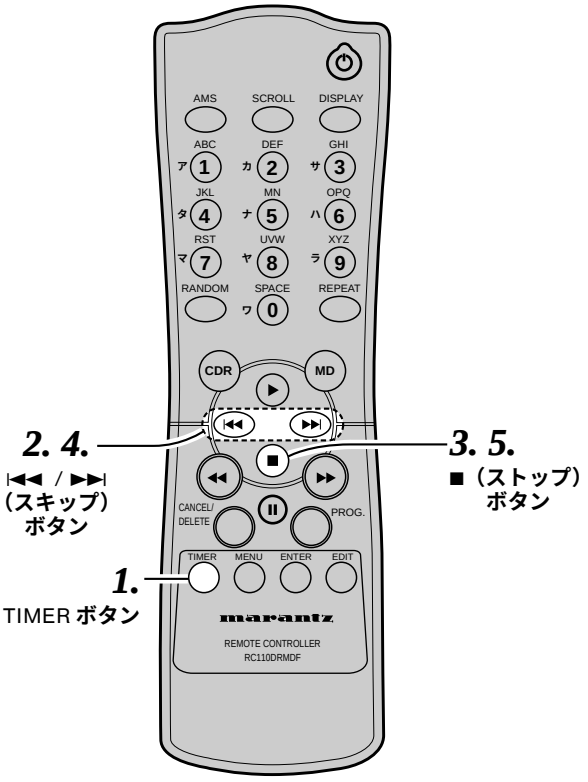
**7.** **確定するにはリモコンの ■ ボタンを押します。**

- 表示部に合わせた時間が点滅表示されます。（「秒」の設定）

**8.** **最後に 時報に合わせてリモコンの ■ ボタンを押し、「秒」を合わせます。**

- 設定された後は、自動で時間設定モードが解除されます。

# タイマー再生



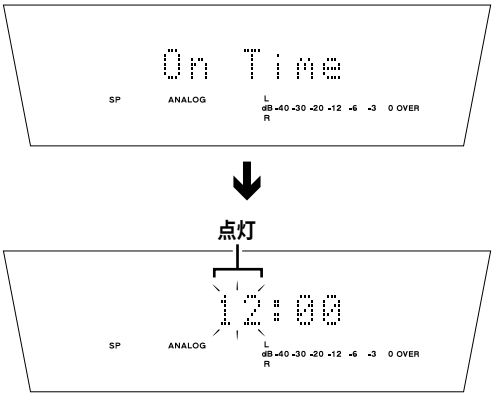

## タイマー再生を設定する

再生したい時間を設定して MD を聞くことができます。タイマー再生するためにオンタイム／オフタイムを設定してください。

**1.** **リモコンのTIMERボタンを1回押します。**

- 表示部に"On Time"と表示した後に時間が表示され、「時」が点滅しています。(再生オン「時」の設定)

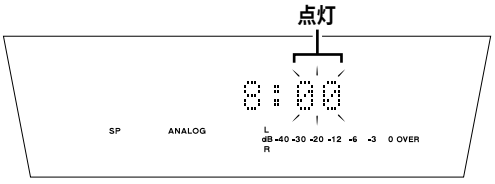
**3秒間表示します**




**2.** **リモコンの |◀◀/▶▶| ボタンで再生オンの「時」を設定します。**

**3.** **確定するにはリモコンの ■ ボタンを押します。**

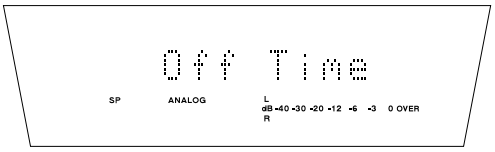
- 表示部に時間が表示され、「分」が点滅しています。(再生オン「分」の設定)



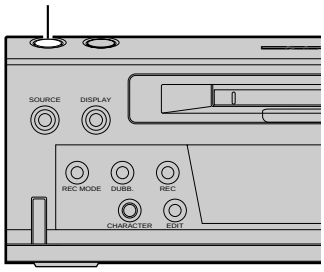

**4.** **リモコンの |◀◀/▶▶| ボタンで再生オンの「分」を設定します。**

**5.** **確定するにはリモコンの ■ ボタンを押します。**

- 表示部に"Off Time"と表示した後に時間が表示され、「時」が点滅しています。(再生オフ「時」の設定)

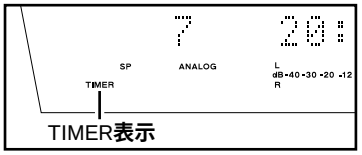


# タイマー再生




**6.** **次に再生オフの時間を設定しますが、同じように手順2から5を行い「時」、「分」を設定してください。**

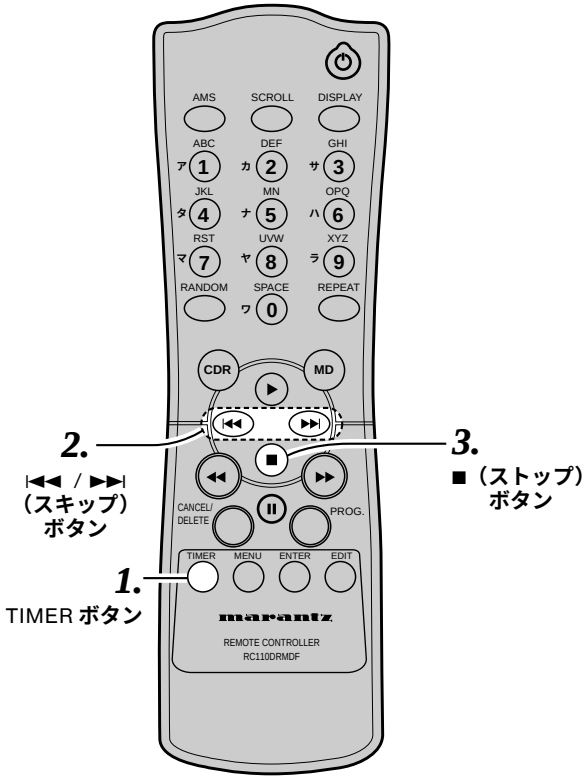
- 設定された後は、自動でタイマー設定モードが解除されます。
- 表示部に"TIMER"が表示されます。




**7.** **本機のSTANDBYボタンをOFFにします。**

- ボタンがオレンジ色に点灯します。

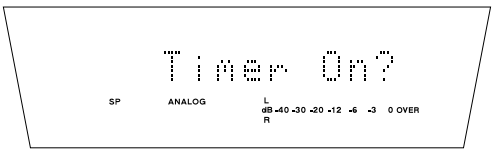
## タイマー再生の設定／解除



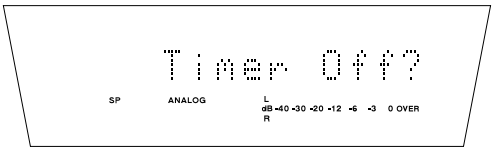

**1.** **リモコンのTIMERボタンを2回押します。**

- 表示部に"Timer Off?"と表示されます。

**2.** **タイマー再生を設定するには、リモコンの |◄◄/►►| ボタンで"Timer On?"を選びます。**




**またはタイマー再生を解除するには、リモコンの |◄◄/►►| ボタンで"Timer Off?"を選びます。**




**(注意)**

レシーバーSR110と接続してシステム機能をお使いになる場合、MD110のタイマー機能は必ず"Timer Off?"に設定してください。

**3.** **確定するにはリモコンの ■ ボタンを押します。**

**(注意)**

"No Disc"、"Disc Error" および "Blank Disc"が表示しているときは、タイマー再生は機能しません。

# その他

## メッセージ表示一覧

**No Disc**
- MD が入っていません。

**Din Unlock**
- デジタル入力信号に異常があります。デジタル入力接続および入力信号の設定を確認してください。

**SCMS**
- シリアルコピーマネージメントシステムで制御されているため、デジタル録音はできません。アナログで録音してください。（20 ページ）

**No Audio Data**
- デジタル入力されている信号がオーディオ信号ではないため、録音できません。

**MD Disc Full**
- MD の残り時間がないため、録音できません。
- 255 曲までしか録音できません。

**Title Full**
- MD と曲のタイトルは 1792 文字が上限です。

**Blank Disc**
- 何も録音されていない録音用 MD が入っています。

**No Tracks**
- MDにタイトルが付いていますが、一曲も録音されていない MD が入っています。

**Toc Reading**
- MD の情報を読み取っています。

**Toc Writing**
- 編集または録音の結果を MD に記録しています。

**Disc Error**
- MD に異常があります。

**OK ?**
- 確認を求めるメッセージです。

**MD Protected**
- MD が誤消去防止状態になっています。

**MD Play Only**
- 再生専用の MD が入っています。

**Complete**
- 編集および設定の完了です。

# システム上の制約について

MD（ミニディスク）は、従来のカセットやDATと録音の方式が異なるため、いくつかのシステム上の制約があります。その制約により、次のような症状が出る場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

**録音可能時間内であっても "DISCFULL" が表示される。**

→ 時間や録音モードに関係なく、曲数がいっぱいになると "DISCFULL" を表示します．MDシステムでは、255曲以上の録音はできません。さらに曲を追加録音するには、不要な曲を消すか、別のMDに分けて録音してください。

**曲数も録音時間も余裕あるのに "DISCFULL" が表示される。**

→ 時間や曲数に関係なく、編集操作を頻繁に行うと "DISCFULL" が表示されることがあります。

**短い曲を何曲も消したがMDの残り時間が増えない。**

→ MDの残り時間を表示するとき、12秒以下の録音信号は無視されるので、短い曲を何曲消しても残り時間が増えないことがあります。

**録音経過時間と残量時間の合計が、MDの録音可能時間と一致しない場合がある。**

→ 通常、約2秒の最小単位で録音されます。それに満たないものでも、2秒分のスペースを使うため、実際に録音可能な時間は少なくなります．またMDに傷があると、傷の部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。

**つなぐことができない場合がある。**

→ 編集してできた曲は、つなげない場合があります。また、アナログ録音とデジタル録音の曲や録音モードが異なる場合もつなげることができません。

**サーチを行うと音が途切れることがある。**

→ 編集してできた曲は、サーチすると音が途切れる場合があります。

**曲番が正確に付かないことがある。**

→ デジタル録音でCDを録音するとき、CDの録音内容によっては、短い曲ができる場合があります。また、自動で曲番をつけるとき、録音するものの内容によっては曲番が正確につかないことがあります。

**"Toc Reading" 表示がなかなか消えない。**

→ 新品の録音用MDをセットすると、通常より "Toc Reading" 表示が長くなります。

**タイトルが1792文字入らない。**

→ タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されます。7文字以下のタイトルでも7文字分のスペースを使うため、1792文字が入りきらない場合があります。

# 故障とお考えになる前に

本機の調子がおかしいときは、サービスに依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社サービスセンターにご連絡してください。

**電源が入らない。**
- 電源コードの差し込みが不完全ではありませんか？

**電源がオフできない。**
- システム機能でご使用されている場合、MD110のスタンバイボタンが無効となります。当社レシーバーSR110のスタンバイボタンを押してください。

**"DISC ERROR" が表示される。**
- ディスクが損傷しています。ディスクを交換してください。

**再生できない。**
- 結露している場合は、ディスクを取り出して数時間放置してください。
- 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
- ディスクは正しく矢印の向きに挿入してください。。
- ディスクのレーベル面（印刷面）が上になっているか確認してください。

**音が出ない。**
- システムとの接続をもう一度確認してください。
- 音量等、アンプの操作を確認してください。

**録音ができない。**
- MD が誤消去防止状態になっている場合は、誤消去防止のツメをスライドさせて、孔を閉じてください。
- システムとの接続をもう一度確認してください。
- 録音レベルが下がっていないか確認してください。
- 録音しようとする音源と入力モードが合っているか確認してください。
- 再生専用の MD には録音できません。録音用 MD と交換してください。
- MDの残り時間が足りない場合は、不要な曲を消去するかMDを交換してください。
- アンプの操作を確認してください。

**録音レベルが調節できない。**
- CD シンクロダビング録音では、録音レベルは調整できません。

**オートトラックインクリメント機能が働かない。**
- 曲間の時間によっては動作しないことがあります。このような場合は、編集機能を使って曲を分けてください。
- IEC958（コンシューマ部）音声規格に従ったデジタル出力信号のコンシューマ音源であるか確認してください。
- 音源が、DVDディスクではないでしょうか。DVDディスクには、トラック情報はありません。

**録音にひずみがある。**
- 録音レベルの設定が高すぎないか点検してください。

**タイトルおよび曲名が入力できない。**
- MD が誤消去防止状態になっている場合は、誤消去防止のツメをスライドさせて、孔を閉じてください。
- 再生専用の MD には入力できません。録音用 MD と交換してください。

**リモコンで操作ができない。**
- リモコンの MD ボタンを押してから操作してください。
- リモコンの電池が消耗していませんか。確認または交換してください。
- リモコンの送信部が本機のリモートコントロールセンサーに正しく向けられていますか。システム接続時には、レシーバー SR110 に正しく向けられていますか。また、この間にリモコンからの信号を遮るものはありませんか。
- リモートコントロールセンサーに強い光が当たっていませんか。
- 本機後面のリモコンセレクターが"EXT."になっていませんか。レシーバー SR110 とシステム接続していないときは、"INT." にしてください。

**タイマー設定ができない。**
- システム機能でご使用されている場合（セレクタースイッチが "EXT." ）は、リモコンのTIMERボタンが無効となります。本機を単独でお使いの際には、セレクタースイッチを "INT." に切り替えてください。

**リセットするには**
- 本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズまたは静電気の影響などによって、正常な動作をしなくなることがあります。
- このような場合は、本機をオンにしたまま電源コードをコンセントから引き抜き、本機のスタンバイボタンを押しながらプラグに差し込んでマイコンをリセットしてください。リセットすると、本機は工場出荷時の状態に戻ります。

**ご注意**

本機の誤動作や故障によって、正常に録音できなかった場合の損害（CDレンタル料など）は保証対象外となります。大切な録音の場合は、あらかじめ正常に録音できることを確認して録音してください。

# 保証とアフターサービス

1. この製品には保証書を別途添付してあります。
   保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 本体の保証期間はお買い上げ日より１年間です。
   お買い上げ販売店又は弊社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理。
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低 8 年間保有しています。
5. 修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所に遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度“ 故障とお考えになる前に ”をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときは、必ず電源プラグを抜いて、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所にご連絡ください。

**修理の際にご連絡いただきたい内容**

1) 品名　MD デッキ
2) 品番　MD110
3) お買い上げ日 年　月　日
4) ご住所
5) お名前
6) 電話番号
7) 故障の状況（できるだけ具体的に）

## ステレオ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

# 仕様

## 本体 (MD110)

形式 ..... ミニディスクデジタルオーディオシステム
レーザー ..... 半導体レーザー
記録方式 ..... 磁界変調オーバーライト方式
回転数 ..... 約400 rpm～900 rpm（CLV）
サンプリング周波数 ..... 44.1 kHz（32 kHz、48 kHz入力時は44.1 kHzに変換）
周波数特性 ..... 20～20 kHz（±1dB）
S/N ..... 85 dB以上
全高調波歪率 ..... 0.005 %以下（1kHz）
ダイナミックレンジ ..... 90 dB以上
ワウフラッター ..... 測定限界値以下
音声出力 ..... 2.0 Vrms
入力感度 ..... 250 mVrms

## 一般事項

電源 ..... AC lOO V, 50/60 Hz
消費電力 ＜電気用品取締法＞ ..... 12 W
最大外形寸法（幅×高さ×奥行） ..... 210×71.5×310 mm
質量 ..... 3.3 kg

## リモコン送信機 (RC110DRMDF)

外形寸法（幅×高さ×奥行） ..... 50.5×154.5×25 mm
質量 ..... 60 g

## 付属品

リモコン送信機 ..... 1個
単3形乾電池 ..... 2本
オーディオケーブル ..... 2本
リモートコントロールケーブル ..... 1本
同軸ケーブル ..... 1本
保証書 ..... 1部（箱に貼り付け）
愛用者カード ..... 1枚
取扱説明書（本書） ..... 1冊

**仕様および外観は改善のため、予告なく変更されることがあります。**
**取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。**

**本製品は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。**

# 著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
音楽の歌詞、楽曲などは著作権法によって保護されていますが、放送やCD、レコード、その他の録音物（カラオケテープ・ミュージックテープなど）も同じように著作権法により保護されています。従って、それから録音したものを

- 売ったり、配ったり、あるいは譲ったり、貸したりすること
- 営利（店の BGM など）のために使用すること

は、著作権法上、権利者の許諾が必要です。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部、もしくはもよりの支部におたずねください。

### 日本音楽著作権協会

| | |
|---|---|
| 本　　部 | 〒151-8540　東京都渋谷区上原 3-6-12<br>TEL (03)3481-2121(大代表)　　FAX (03)3481-2150 |
| 北海道支部 | （業務地域 北海道） |
| | 〒060-0001　札幌市中央区北一条西 3-2　大和銀行札幌ビル<br>TEL (011)221-5088(代表)　　FAX (011)221-1311 |
| 盛岡支部 | （業務地域 岩手・青森・秋田） |
| | 〒020-0034　盛岡市盛岡駅前通 15-20　ニッセイ盛岡駅前ビル<br>TEL (019)652-3201(代表)　　FAX (019)652-4010 |
| 仙台支部 | （業務地域 宮城・山形・福島） |
| | 〒980-0021　仙台市青葉区中央 2-2-6　住友銀行仙台ビル<br>TEL (022)264-2266(代表)　　FAX (022)265-2706 |
| 長野支部 | （業務地域 長野） |
| | 〒380-0823　長野市南千歳2-12-1　日本団体生命長野ビル<br>TEL (026)225-7111(代表)　　FAX (026)223-4767 |
| 大宮支部 | （業務地域 埼玉・栃木・群馬・新潟） |
| | 〒331-0852　大宮市桜木町 1-7-5　ソニックシティビル<br>TEL (048)643-5461(代表)　　FAX (048)643-3567 |
| 上野支部 | （業務地域 台東・文京・荒川・葛飾・足立・北各区・茨城） |
| | 〒110-0005　東京都台東区上野2-7-13<br>交通公社・安田火災上野共同ビル<br>TEL (03)3832-1033(代表)　　FAX (03)3832-1040 |
| 東京支部 | （業務地域 千代田・中央・港・墨田・江東・品川・大田・江戸川各区・島しょ部・千葉） |
| | 〒104-0061　東京都中央区銀座 1-15-6　共同ビル銀座1丁目<br>TEL (03)3562-4455(代表)　　FAX (03)3562-4457 |
| 西東京支部 | （業務地域 新宿・目黒・世田谷・渋谷・中野・杉並・豊島・板橋・練馬区） |
| | 〒160-0022　東京都新宿区新宿 5-17-5　新宿中央ビル<br>TEL (03)3232-8301(代表)　　FAX (03)3232-7798 |
| 東京イベント・コンサート(EC)支部 | （業務地域 東京都・千葉・茨城・山梨）<br>＊コンサートや、イベント等における演奏・上映等 |
| | 〒160-0022　東京都新宿区新宿 5-17-5　新宿中央ビル<br>TEL (03)5286-1671(代表)　　FAX (03)5286-1670 |
| 立川支部 | （業務地域 東京都市部、郡部(島しょ部を除く)・山梨） |
| | 〒190-0012　立川市曙町 2-22-20　立川センタービル<br>TEL (0425)29-1500(代表)　　FAX (0425)29-1515 |
| 横浜支部 | （業務地域 神奈川） |
| | 〒231-0005　横浜市中区本町1-3　綜通横浜ビル<br>TEL (045)662-6551(代表)　　FAX (045)662-6548 |
| 静岡支部 | （業務地域 静岡） |
| | 〒420-0857　静岡市御幸町 11-30　エクセルワード静岡ビル<br>TEL (054)254-2621(代表)　　FAX (054)254-0285 |
| 中部支部 | （業務地域 愛知・岐阜・三重） |
| | 〒450-0002　名古屋市中村区名駅 4-27-23<br>名古屋三井ビル東館<br>TEL (052)583-7590(代表)　　FAX (052)583-7594 |
| 北陸支部 | （業務地域 石川・富山・福井） |
| | 〒920-0853　金沢市本町 1-5-2　リファーレ<br>TEL (076)221-3602(代表)　　FAX (076)221-6109 |
| 京都支部 | （業務地域 京都・滋賀・奈良） |
| | 〒600-8008　京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町8<br>京都三井ビル<br>TEL (075)251-0134(代表)　　FAX (075)251-0414 |
| 大阪支部 | （業務地域 大阪・和歌山） |
| | 〒542-0081　大阪市中央区南船場 4-3-11　豊田ビル<br>TEL (06)6244-0351(代表)　　FAX (06)6244-1970 |
| 神戸支部 | （業務地域 兵庫） |
| | 〒650-0024　神戸市中央区海岸通6番地　建隆ビルII<br>TEL (078)322-0561(代表)　　FAX (078)322-0975 |
| 中国支部 | （業務地域 広島・岡山・山口・鳥取・島根） |
| | 〒730-0021　広島市中区胡町 4-21　朝日生命広島胡町ビル<br>TEL (082)249-6362(代表)　　FAX (082)246-4396 |
| 四国支部 | （業務地域 香川・徳島・高知・愛媛） |
| | 〒760-0023　高松市寿町 2-2-10　住友生命高松寿町ビル<br>TEL (0878)21-9191(代表)　　FAX (0878)22-5083 |
| 九州支部 | （業務地域 福岡・大分・佐賀・長崎・熊本） |
| | 〒812-0011　福岡市博多区博多駅前 2-1-1　福岡朝日ビル<br>TEL (092)441-2285(代表)　　FAX (092)441-4218 |
| 鹿児島支部 | （業務地域 鹿児島・宮崎） |
| | 〒892-0842　鹿児島市東千石町 1-38　アイムビル<br>TEL (099)224-6211(代表)　　FAX (099)224-6106 |
| 那覇支部 | （業務地域 沖縄） |
| | 〒900-0015　那覇市久茂地 1-3-1　久茂地セントラルビル<br>TEL (098)863-1228(代表)　　FAX (098)866-5074 |

# 日本マランツ株式会社

本　　社　〒228-8505　神奈川県相模原市相模大野7ー35ー1

**お問い合わせは日本マランツ(株)お客様ご相談センターで承っております。**

**お客様ご相談センター　〒150-0022　東京都渋谷区恵比寿南1-11-9**

**電話（03）3719-3481**

**ご相談受付時間　9:30〜12:00、13:00〜17:00**
**（土・日・祝日、弊社休日を除く）**

修理に関しましては下記日本マランツ(株)各サービスセンター、各営業所で承っております。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 国内営業本部 | 〒150-0022 | 東京都渋谷区恵比寿南1-11-9 | 電話(03)3719-2233 |
| 札幌営業所 | 〒060-0032 | 北海道札幌市中央区北二条東7-82 | 電話(011)231-5776 |
| 仙台営業所 | 〒982-0011 | 宮城県仙台市太白区長町3-7-13 | 電話(022)308-3566 |
| 東京マランツ営業所 | 〒150-0022 | 東京都渋谷区恵比寿南1-11-9 | 電話(03)3793-5721 |
| 神奈川営業所 | 〒228-8505 | 神奈川県相模原市相模大野7-35-1 | 電話(042)748-1245 |
| 名古屋営業所 | 〒465-0024 | 愛知県名古屋市名東区本郷2-75 | 電話(052)776-5073 |
| 大阪営業所 | 〒564-0053 | 大阪府吹田市江の木町2-31 | 電話(06)6337-6504 |
| 広島営業所 | 〒732-0814 | 広島県広島市南区段原南2-12-27 | 電話(082)262-1265 |
| 福岡営業所 | 〒812-0014 | 福岡県福岡市博多区比恵町1-18 | 電話(092)441-9131 |
| 東京サービスセンター | 〒228-8505 | 神奈川県相模原市相模大野7-35-1 | 電話(042)748-0762 |
| 大阪サービスセンター | 〒564-0053 | 大阪府吹田市江の木町2-31 | 電話(06)6337-6699 |

**Printed in China**　　**01/06　MIT　325W851112**